（月刊）（号刊外）　みさを館報　昭和31年7月15日　（一）

館報みさを
第1号
館公民町見佐波
電話波佐見69番局
町浦郡市村大
所刷印文社印刷
電話888番

# 新町の前途を祝して

波佐見町長職務執行者　福重武次郎

波佐見町長職務執行者　福重武次郎

永い間の願望叶いまとでありまして、衷心より喜びに堪えない次第であります。

省みますと、本町の誕生までに至る陣痛期間は、比較的に永かったのでありますが、上、下波佐見はもとより一沿革、地勢、人情、風俗、産業等あらゆる面から考えまして、当然同一行政区画でなければならぬと思いましたので、町村合併促進致すのであります。然し、新町は法の制定公布当時から今日あることを熱望して、一つにかゝって、全町民の努力と心構の如何にあると存じます。更に申すまでもありませんが、町の振興発展を図るには、何と云つても町民の融和一致が最大の要件だと信じます。個人の家庭にせよ、公共団体の運営にせよ、融和の精神に欠ける、一段の努力を切に願いする次第であります。

私は昔から「和を以つて尚しとせよ」とよく聞かされております。家を整え国を治める根本理念は、和の精神で繋ると固く信じております。徒いましたが、すく〳〵と健全に成長することを考えますと、これ迄の苦心や悩みは一時に解消する様な感が致すのであります。

然しながら、新町は生れたばかりでありまして、今後の育成は、一朝一夕に出来るものではありません。新町建設計画の基本方針と致しまして、農業及び農業を基幹産業に掲げました所以も、実は茲に存するのであります。どうか町民各位におかれても本町古来の産業を振起させるため、格段の工夫を払われますと同時に、新町の対来が輝かしい成果を挙ますようけられ、町政も円滑に行われ、延いてはそれが町民福祉の基になると大きな期待を持つております。新町の発展を祈念致します。

最後に新町が将来益々繁栄するよう祈念して私の挨拶と致します。

## 開廳式

六月一日

◇午前六時から町役場階上に於いて福重町長職務執行者により吏員の任命式が挙行された。

先づ執行者より訓示があり新波佐見の発足に一、和を以て事に処せよ。

二、公僕の精神に徹せよ。

一、自らを慎しみ、聊かも後指をさされぬ様に公明な節度を保て、何のわだかまりもなく、只一途に波佐見町振興発展のため、全精魂を打込むことが町民に与えられた使命であると思うのであります。

何時も申上ることでありますが、由来本町は農業、窯業の二大産業が併立して、生々発展して参りました。この二つの産業を基幹とし、益々発展させることによつて、町の基盤は確立将来とも、円滑に行政の為に全力を尽して邁進せんと誓を宣べて執行者に答えた。

◇町議会は午前八時から公民館に於いて開かれ町条例及暫定予算等議案が提出され原案通り可決された。

◇午前十一時より公会堂に於いて開庁式が行はれた。町民、各種団体、其他町外来賓合せて約三百名

代議士　北村徳太郎　佐世保　松永工務所

県議　岩永藤樹　佐世保　早田文具店

県議　一瀬光夫　長崎　日東商会

長崎日日新聞社川棚　大曲吉喜

長崎十八銀行針尾　原田堯夫

佐世保　玉屋針尾　溝上漸

一堂に會して開庁式が行われた。

開式の辞

国歌斉唱

式辞

祝辞—祝電披露

吏員紹介

閉式の辞

引續き祝宴に入り開庁慶祝の気分を通はせて万歳三唱裡に午后二時終了したのであつた。

当日町長職務執行者の式辞は別記の通りで来賓の祝辞を山口彼杵町長が次の意御心配をかけて居りました合併問題も、皆様の御協力と下部落の大乗的な互譲によりまして、こゝに芽出度く新町の発足を見ましたことは誠に喜びに堪えません。

然しながら図らずも私は、浅学非才の身を以て、新町発足の議会議長の栄職を擔うことになり其の責務の重大さを痛感している次第であります。

思うに新波佐見町は明治になつて市町村制が布かれてから、二つの村に分れたので、それまでは同じ波佐見として育つて来たのでありまして、人に進もうではありませんか。

新町の誕生に当つて一諸になつたのは、昔に戻つたので当然のこと、言はねばなりません。

しかも農業と窯業の大きい目標を以て勇敢

## 祝辭

### みんなで手を握りませよう

波佐見町議會議長　中尾謙吾

久しく生みの悩みを続けて、町民の皆様に御協力を願い、又より以上に利便を与へて、販路の拡張に協力して、行つたならば、恐らく県下に有数な有福な町の生活安定と福祉増進を計り、以つて農業、窯業の二大産業の発展に最善を盡くさなければならないと信ずるものであります。

一、農業

主食増産計画を中心とした農業生産の多角経営の合理化を計るために灌漑水の確保、農地の改良、農道の整備、農機械化による労働力の高率化、農地多角利用の奨励、農産加工業の振興を図り、併て新農村創設の推進に協力する。

二、窯業

内地向日用飲食器としても生産する波佐見焼は白素地に染付或は色彩を施した優雅なる特長を特に所望され、美術的製品として発展し、現在の生産高は年三億円に達す。幸にして生産力は年々向上して、国内は勿論アジヤ諸国向製品の生産計画をなす等販路の拡張に協力す。

三、道路事業

町道路整備は遂次計画に基づいて行ふ。

以上は今後の町政に抱いて居ります私の施政の構想の一端でありますが、この事業の完遂と円滑な運営をなすには、町民各位の御理解と関係者の御盡力にまたねば出来ない事でありますので、御協力を切に御願ひする処であります。

波佐見町発足に当り所感を申述べて祝詞と致します。

## 波佐見町はこんなに大きくなった

### 土地面積

五七、七四方粁

水田　八二八、九町

畑　四三九、七町

山林　二、一二九、〇町

### 世帯數

二、七七二戸

農家　一、八五八戸

工業工場　一三三戸

商業店舗　二二九戸

### 人口

一六、三三七人

中、小学校　六校

同　生徒數　三、三三七人

## シュクデン

長崎県知事西岡竹次郎

長崎県総務部長

長崎県教育長

長崎県町村会長

長崎県町村議長会長

長崎県南福祉事務所長

各種団体、其他町外

## 農、窯……二大産業の発展に重点を

### 前上波佐見町議會議長　上田広次

地方行政の改革に依り愈々申上ぐる次第であります。然し、新町は法の制定公布当時から今日あることを熱望して、一つにかゝって、全町民の努力と心構の如何にあると存じます。更に申すまでもありませんが、町の振興発展を図るには、何と云つても町民の融和一致が最大の要件だと信じます。個人の家庭にせよ、公共団体の運営にせよ、融和の精神に欠ける、一段の努力を切に願いする次第であります。

然し、新町は法の制定公布当時から今日あることを熱望して、一つにかゝって、全町民の努力と心構の如何にあると存じます。更に申すまでもありませんが、町の振興発展を図るには、何と云つても町民の融和一致が最大の要件だと信じます。個人の家庭にせよ、公共団体の運営にせよ、融和の精神に欠ける、一段の努力を切に願いする次第であります。

## まだまだ水準を上げよ

教育長　東中学校長　野沢榮治

上下波佐見が合併して新しい町が生れたが、やつぱり一つにまとまることを理想としたものである。

過去に於て両町村共に産業経済面と共に、教育の面でも決して他の地方に負けてはいなかつたと思うが、静かに考えて見ると世は原子力の時代になろうとしている。まだまだ水準を上げねばならない面が沢山あることを発見することが出来る。

教育の基本は一人一人の心を導く事にあると思う。

団体も、生みのなやみはあるかと思われるが、やつぱり一つにまとまることを理想としたものである。

過去に於て両町村共に産業経済面と共に、教育の指命を痛感する。どうか皆さんの御協力を御願いいたします。

の方法を講じ、灌漑水の利用化も研究する。

五、公營住宅

町財政力の充実をまつて、年次計画を立て少くとも一ヶ年に拾戸乃至拾戸程度の建設計画を立てる。

六、團体の統合

実施する計画をなし、青年団婦人会は町内の主要団体であるので、融和を計る意味にて成るべく自主的に統合して町行政に協力される様お願ひする。

三、道路事業

町道路整備は遂次計画に基づいて行ふ。

以上は今後の町政に抱いて居ります私の施政の構想の一端でありまして、年次計画を立て少導所に於て専門的に教育を実施して居ります事は、本町至弐拾戸程度の建設計画を立てる。

六、團体の統合

実施する計画をなし、青年団婦人会は町内の主要団体であるので、融和を計る意味にて成るべく自主的に統合して町行政に協力される様お願ひする。

二千町歩余に及ぶ農耕又五ケ年計画にて年産地の合理的活用と、経営の合理化、農村文化の向上に努めると共に三百年来の伝統をもつ陶磁器の振興発展のために、生産者の研究努力を願い、又より以上に利便を与へて、販路の拡張に協力して、行つたならば、恐らく県下に有数な有福な町の生活安定と福祉増進を計り、以つて農業、窯業の二大産業の発展に最善を盡くさなければならないと信ずるものであります。

一、農業

主食増産計画を中心とした農業生産の多角経営の合理化を計るために灌漑水の確保、農地の改良、農道の整備、農機械化による労働力の高率化、農地多角利用の奨励、農産加工業の振興を図り、併て新農村創設の推進に協力する。

二、窯業

内地向日用飲食器としても生産する波佐見焼は白素地に染付或は色彩を施した優雅なる特長を特に所望され、美術的製品として発展し、現在の生産高は年三億円に達す。幸にして生産力は年々向上して、国内は勿論アジヤ諸国向製品の生産計画をなす等販路の拡張に協力す

## 祝辞

### 萩市の教育を取入れてほしい

南中学校長　中里　進

地方財政再建整備の一環として全国的に行政区画の再編がなされているが、その中にもれず我が上下両波佐見の合併が多難の中にも六月一日を以て施行された。元来この両波佐見は往時は一つの行政区画の中にあったものが、明治の初め両波佐見に分かれて行政がなされて今日に至ったものと聞いている。従つて人情、風俗、習慣、萎靡共に相似て地形上からも本県の地図を見ると、一つの行政区画となしてもふさわしいものに見へるのである。

愈々町は大きくなつた。これからの発展を期待せねばならない。産業の振興に、文化の向上に！そして富める町を建設し豊かな人情を培ふことである。即ちその基礎又は根底をなすものは基礎教育であり道路網の整備である。教育を盛んにし、町民の知識を旺盛にし、交通をよくし運輸を図り、文化の交流に努め、生産々業を振興して経済の充実を計らねばならぬ。

この合併によつて最も大切なことは全町民の和である。殊に為政の画に於ては従来の上波佐見町、下波佐見村と云ふ考へを払拭してかりそめにもたゞへだての為政又は基本的平等を欠くか如きことがあつてはならない。新たに生れた！否住時に復帰したと云ふかこゝに新発足を見た波佐見町が、全町和によつて結ばれ、いやが上にも発展して住みよい社会が建設されることを心から念願するものである。殊にこの地域の特産物である陶磁器は、日本全国至らざる所なく、遠く朝鮮、満洲、中国、南方諸地域まで進出を見せ、現在又々欧米までも進出をされて居ることは、全く慶ばしき限りであり、町の経済に寄与する所も大である。亦本県の特産品として山口県は小さい乍らも有名人を多数輩出して居るのである。我が波佐見町も山口県の萩のようなる教育を重視する町になり度いものである。新町が誕生と共にすべての点に前進し、全町民の親和と民生を計り、益々発展して止まないことを祈つて心から祝福するものである。

## 大きくなつた力を努力によつて伸ばせ

東小学校長　尾崎利一

初夏の陽光が青葉の山で囲まれた波佐見盆地に、さんさんとかゞやいている。田圃では麦刈のまつ最中。サク〳〵という鎌の音がきこえるようだ。あちこちに見える陶器工場の煙突からは、今日もムク〳〵と黒煙が立ちのぼつている。平和で、しかも活気のある仕事ができる。

近代社会に於いてはすべて協同、協力でなければ、文化も向上しないし、産業も発達しない。これはだれでも知つている。

だから、ただ大きくなつたというだけで、手離しで喜んではいけない。条件がよくなつたのだから、この条件を十二分に発揮するために一人々々が努力しましよう。

大波佐見町発展のために。

そして町民の幸福のために。

## 和を

南小学校長　中島周次

このたび上下両波佐見の合併が、首尾よく実を結んでここに新しく波佐見町としての誕生をみましたことは、ほんとうにおめでたい限りであります。

この二つの条件を欠いては、たとえどんなに秀れた計画が立てられたにせよ、その成果はなかなかにあがにくいものであろうと思われるのであります。

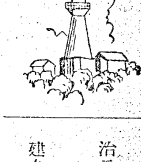
この意味において、私達一万六千の町民は、その職場においては、それぞれの職に一層の精進を誓い、更に又美しい明るいそして住みよい波佐見町の町造りに協力することを固く誓うものであります。

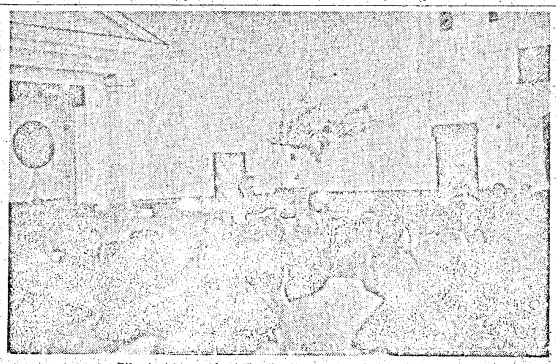
## 新波佐見町に

そういたします場合、最も大切だと思われますものは、先づ第一に人の和であり、その第二としてはお互に仲よく協力し合うという事にあろうかと考えます。

この二つの条件を欠いては、たとえどんなに秀れた計画が立てられたにせよ、その成果はなかなかにあがにくいものであろうと思われるのであります。

前途輝かしい新町波佐見の栄えある首途に、心からなる祝福をおくり今後の飛躍発展を念願して私の祝詞といたします。





辞式の者行執務職重福　式庁開

（まえがき）

今の青年諸君は歴史を習つて居りません。歴史を振り返つて、強い愛国心が湧き、温かい郷土愛が生れて来るものです。この年表を書いたのもその意味であります。

## 波佐見町の年表

（年号の左の数字は西暦）

カッコ内は国及び世界の事項を入れて参考としたものである。

わが郷土の大昔のことはよく分らないが今から一、八六二年前景行天皇の御代に九州の熊襲が叛いたので、天皇は自から兵を率いて征伐に来られた。この時速来（はやき―今の早岐ではないか）に土蜘蛛とゆう賊が叛いたので天皇は家来神代直をやつて、之を征伐せしめられたので、西長速来津姫は降伏し、姫の弟健津三間はイタビ玉、白玉、ミツチヤー等の美しい玉を献上した。天皇は非常に喜ばれて「この国は具足玉、（そない玉）の国とゆうべし」と仰せられた。この「そない」とゆうのがなまつて、後世「彼杵郡」とゆうようになつた。（古文書参照、役場……山川調）

| 年号 | | 事項 |
|---|---|---|
| 和銅 | 元 | 奈良時代（大和の法隆寺再建される） |
| 和銅 | 七〇八 | 僧行基……布教巡回して当地に来り金谷山東前寺を建つ。 |
| 年間 | | 聖武天皇が西海地方を鎮める勅願を立てられ左大臣橘諸兄公を勅使として下向せしめられた。諸兄公は金谷山の霊場を選定して、金谷神社を建て西海鎮守の社とした。 |
| 天平 | 一三 | （奈良……東大寺建つ） |
| 七四一 | | |
| 延暦 | 二四 | 京都……平安時代（最澄上人……唐より帰朝し天台宗を開く） |
| 八〇五 | | |
| 大同 | 元 | （宗海上人……同じく唐より帰つて真言宗を開く） |
| 八〇六 | | |
| 正暦 | 五 | 藤原時代……菅原道眞が太政大臣時代……大村直澄……四国の大洲から大村に入国、波佐見平瀬郷を東前寺に寄進す。これから波佐見は大村家に属するようになつた。 |
| 九九四 | | |
| 安元 | 元 | 平家時代（源氏……法然上人浄土宗を開く） |
| 一一七五 | | |
| 治承 | 四 | 平家の落人……某（剣の御前とも言う）鹿山神社を建つ |
| 一一八〇 | | |
| 建久 | 元 | （栄西上人……宋より帰朝し禅宗（臨済宗）を開く） |
| 一一九〇 | | |
| 建久 | 二 | （源頼朝……鎌倉に幕府を開く） |
| 元仁 | 元 | 鎌倉時代……（親鸞上人……浄土眞宗を開く） |
| 一二二四 | | |
| 建長 | 五 | （日蓮上人……法華宗（日蓮宗）を開く） |
| 一二五三 | | |
| 明應 | 元 | 室町時代（コロンブス……アメリカを発見する） |
| 一四九二 | | |
| 永錄 | 年間 | 戦国時代……武雄の後藤貴明、大村純忠と戦い、大村勢が敗れて一時波佐見は有馬領となつた。 |
| 一五六〇頃 | | |
| 天正年間 | | 信長時代……福田丹波守は金谷の松山城、上野政広は内海城、澁江豊後の守公師は平瀬の岳の山城に、夫々立籠つて力を協せて秀吉勢を取り、再び大村領に帰つた。 |
| 一五八〇頃 | | この時各地の浮立（中山、八島、野々川、山中、鬼木）がお祝のために領主の面前で打つたのが当地方の浮立が世に出た始めである。 |
| 天正 | 一〇 | （本能寺の変……大友、大村、有馬等から少年使節をローマに出す。……欧洲で現行の太陽暦始まる） |
| 一五八二 | | |
| 天正 | 一八 | 前年豊臣秀吉がヤソ教を禁じたのでヤソ教徒が叛乱し、東前寺、波佐美神社等兵火にかゝつて全焼す。 |
| 一五九〇 | | |
| 文祿 | 元 | （豊臣秀吉……朝鮮征伐を始める） |
| 文祿 | 二 | （朝鮮の捕虜を伴つて名護屋に凱旋す） |
| 一五九三 | | |
| 慶長 | 三 | 僧明了……金谷山安楽房を建つ寛文年中現地に移し瀧山安楽寺と称す |
| 一五九八 | | |
| 慶長 | 九 | （徳川家康……一里塚を築く） |
| 一六〇四 | | |
| 慶長 | 一〇 | 宝（岳辺田郷）舞相（折敷瀬郷）唐より帰朝し天台宗を開く）大村喜前……東前寺を再建す。本寺の外附属十二坊、金谷山内六坊を再興す（この年始めて南蛮から煙草が来る） |
| 慶長 | 一九 | （大阪冬の陣）鮮人……李祐慶……井石永田山に陶窯を開く。 |
| 一六一四 | | |
| 元和 | 元 | （大阪夏の陣豊臣亡ぶ） |
| 一六一五 | | 僧明信……蓮池山法法寺を建つ。本島久兵衛……三股に新窯築を開く（徳川幕府……寺院、将軍家光時代……（葬儀……圓所、駅伝馬の制を定む）弘法越（宮村波佐見間）に關所が出来る。僧善宗……松苔山西斗（三面につゞく） |
| 元和年間 | | |
| 寛永 | 二 | |
| 一六二五 | | |

寛永 六　東漸寺を会合山より平瀬郷亀井山に移す。

寛永 一一　（ヤソ教を禁止長崎で踏絵を行う）中尾白蔵に平戸南部系の窯が開かれる（大村純信時代）

寛永 一四　（島原の乱起る）

寛永 一九　（参勤交替の制度が始まる）家光時代…（外般長崎に来る、中尾山に新に陶磁窯を築く。

正保 元 一六四四　之を駆逐する）

慶安 二　杜正意…村木、古皿屋（下不動作）に窯を開く。

寛文 元 一六六一　家綱時代…中尾山に下登窯を開く

寛文 二　陣木場（皿山）に陶窯が出来る。

寛文 四　（幕府…バクチ及私娼を禁ず）

寛文 五　江戸の町人万屋籐九郎…三股に仕立窯を焼始む。

〃　中尾、阿手向（あてほ）に窯を開く

〃　〃

〃　〃

寛文 七　三股に始めて皿山役所が出来る。惣皿山奉行に黒板喜右ヱ門任命。

〃　（江戸市内に門松を禁ず）

〃　僧日丹…中尾、大同庵を開く。

〃　永尾山に窯が出来る。

〃　（商札場…色々の出来事を住民に知らせるため…今の掲示板を設定す）

〃　八島の教法寺境内と宿の札の辻に立つ。

〃　この頃より五人組の制度が出来る

天和 三　網吉時代…墾貞享元年まで約一年間（大村純長の代）内海に銅山を試掘したが岩が堅く深く掘ることが出来ず、断念するに至つた。

貞享 二　波佐美神社を建つ。

〃　中尾に松尾儀右工門始めて應辰登窯を建つ。

元禄 二　（長崎に唐人屋敷を作り、唐人一切を移住せしむ。）

元禄 五　（徳川光圀…義公の俤を建つ）江戸、大阪、長崎の町人数人で内海銅山の再興を図つたが格別の利潤なく中止。

元禄 六　（赤穂義士が主君の仇を報ず）大阪の備前屋次郎右工門…内海銅山を検分したが採掘を中止す。

元禄 一五　（関東地方大飢…死傷者十一万）

元禄 一六　（富士山噴火す）

宝永 四　吉宗時代…前年中国地方以西の害で米大凶作のため大飢饉となる、この時皿山に義太夫を好む人あり、仲間と図つて人形浄瑠璃を稽古し、西彼平戸、五島を巡つて魚干物等を貰い帰つて飢民を救つた、皿山人形浄瑠璃の起りである。

享保 一七〇七　（東京、横浜間に電信が通ずる）

享保 一八 一七三三　（東京、京都、大阪間に郵便事務開始せらる）

文化 元 一八〇四　家斉時代…（露使レザノフト長崎に来り通商を迫る）

文化 五　（英船長崎に来り通商を迫る）

文化 六　（砲台を長崎に築く）

文化 八　のろし場を各地に作り、長崎に異変ある場合火を焚いて中継し、江戸に速報した。

文政 元 一八一八　（独人シーボルト長崎に来る）

文政 六　波佐見郷村記が出来た。

天保 一四　（幕府…江戸浅草に醸訳局を設く）村内数ヶ所に学問所を設く。

弘化 二 一八四五　（英船浦賀に来り通商を迫る）

弘化 三　（砲台を長崎に築く）

嘉永 元 一八四八　（英船浦賀に来る）

嘉永 二　（蘭人始めて種痘を伝う）

嘉永 五　（露船下田に来る）

嘉永 六　（米使ペルリー浦賀に来る）（露使プーチャチン長崎に来る）大村丹後の守…播州の銀山より嘉七、嘉一の両名を呼び内海銅山の試掘をしたが利潤なく中止

安政 五 一八五八　（幕府…米、蘭、露、英、仏等五国と通商条約を結ぶ）

万延 元 一八六〇　（桜田門外の変…水戸の浪士伊井大老を桜田門外で殺害す）

元治 元 一八六四　（英、仏、蘭、米の連合艦隊、下関を砲撃す）

慶應 三 一八六七　（王政復古の大令発せらる）

明治 二 一八六九　（江戸を東京とし遷都せらる）

明治 四　（東京、横浜間に電信が通ずる）

〃　学問所を廃して波佐見郷校を建設す。

〃　（郵便事務開始せらる）

〃　（藩を廃して県とす）

明治 五　（東京新橋、横浜間に汽車開通）

〃　川棚、波佐見、宮を合せて四十八大区となり、川棚村川津清兵衛区長となる。

〃　小区制となり始めて上、下波佐見に分離す。

明治 六　（徴兵令実施）

〃　上波佐見小区となり、山道清兵衛小頭となる。

〃　宿郷に庭山小学校が出来る。

〃　宿郷に郵便事務取扱所が出来る。

〃　（学制頒布）

〃　（地租改正）

〃　（徴兵令実施）

〃　（太陽暦採用）

〃　（廃刀令）

〃　（秩禄処分）

〃　（神風連の乱）

〃　（秋月の乱）

〃　（萩の乱）

〃　八平瀬及稗木場に小学校を設置し、平瀬小学校及柳原小学校と称す。

〃　九波佐美神社を村社として祭ることとなる。

明治 一〇　（西南の役）

〃　村を東西の二部に分け東部戸長に至尾半左ヱ門、西部戸長に高月左平就任。

〃　（地租改正）

明治 一一　（三新法）

〃　（府県会規則）

〃　（地方税規則）

〃　（三大事件建白）

〃　（竹橋騒動）

〃　（琉球藩を廃して沖縄県とす）

明治 一二　（琉球藩を廃して沖縄県とす）

〃　（教育令）

〃　（改正教育令）

〃　（北海道開拓使を廃す）

明治 一三　（国会期成同盟）

〃　（集会条例）

〃　（府県会開設）

〃　（刑法）

〃　（治罪法）

明治 一四　（国会開設の勅諭）

〃　（自由党結成）

〃　（開拓使官有物払下げ）

〃　（松方財政）

〃　（立憲改進党結成）

明治 一五　（軍人勅諭）

〃　（日本銀行設立）

〃　（自由党解党）

〃　（兵役法）

〃　（秩父事件）

〃　（大阪事件）

〃　（加波山事件）

〃　（静岡事件）

〃　（福島事件）

〃　（高田事件）

〃　（群馬事件）

〃　（名古屋事件）

〃　（飯田事件）

〃　（大井憲太郎ら朝鮮に渡る）

〃　（秩父

昭和一八産業組合を農業会と改称。
〃　一九小玉猿三…三代町長となる
昭和二二一瀬忠一…四代町長となる
昭和二三新制中学校校舎建設に着手
〃　二六年完工
〃　二七教育委員会開設せらる。
〃　二八村体育協会が出来る。
〃　二九中学校産業教育発表をなす
〃　三〇小学校北校舎新築落成。
〃　〃忠魂碑を建立し運動場擴張に着手。
〃　三一中学校に炭窯が出来る。（黒岩寄附者…松尾政、建物…熊葉家寄附）
昭和三二中学校に炭窯が出来る。（黒岩寄附者…松尾政、建物…熊葉家寄附）
〃　三〇福重武次郎六代町長となる
〃　〃忠魂碑を建立として推定
〃　〃皿山に村立保育所を建設す。
〃　三一小一棟を改築
〃　〃招魂場を擴張し忠魂碑を建設す。
〃　〃高校分校二階建、建物…熊葉家寄附）
〃　〃中学校に炭窯が出来る。（黒岩寄附者…松尾政、建物…熊葉家寄附）
昭和三二中学校産業教育発表をなす
〃　二八村体育協会が出来る
〃　二九小学校北校舎新築落成。
〃　三〇福重武次郎六代町長となる
〃　〃忠魂碑を建立として推定
〃　〃皿山に村立保育所を建設す。
〃　三一小一棟を改築
〃　〃招魂場を擴張し忠魂碑を建設す。
〃　〃高校分校二階建、建物…熊葉家寄附）
〃　〃中学校に炭窯が出来る。（黒岩寄附者…松尾政、建物…熊葉家寄附）

◎六月一日合併し、波佐見町となる。
町長職務執行者　福重武次郎…就任

昭和一〇農業共同収益地
〃　九町共同作業場三棟
〃　共同集荷場一八棟
昭和一〇公民学校に果樹園、茶園一町二反、宿泊訓練所一棟（寄附…一瀬イシ）農舎一棟を建設す。
〃　一五一心館を建設、PTA創立
〃　一八国民健康保険組合を創立。
〃　二四健康保険組合を町公営とする。
〃　一九同じく日輪兵舎（教室）五棟を建設。
昭和二二久松清吾…七代村長となる。
〃　二三新制中学校校舎建設に着手。
〃　二六年完工
〃　二七教育委員会開設せらる。
〃　二八体育協会創立
〃　〃公民館設置
昭和二三新制中学校校舎建設に着手。
〃　二六年完工
〃　二七教育委員会開設せらる。
〃　二八体育協会創立
〃　〃公民館設置
昭和二三新制中学校校舎建設に着手。
〃　二六年完工
〃　二七教育委員会開設せらる。
〃　二八体育協会創立
〃　〃公民館設置
昭和二三新制中学校校舎建設に着手。
〃　二六年完工
〃　二七教育委員会開設せらる。
〃　二八体育協会創立
〃　〃公民館設置
昭和二四健康保険組合を町公営とする。
〃　一九同じく日輪兵舎（教室）五棟を建設。
昭和二久松清吾…七代村長となる。
昭和一〇公民学校に果樹園、茶園一町二反、宿泊訓練所一棟（寄附…一瀬イシ）農舎一棟を建設す。
〃　一五一心館を建設、PTA創立
〃　一八国民健康保険組合を創立。
〃　二四健康保険組合を町公営とする。
〃　一九同じく日輪兵舎（教室）五棟を建設。
昭和二久松清吾…七代村長となる。

## 祝辞

# 母親の心に立ってよい郷土を

東中學校育友会長　池田正道

波佐見盆地に浮ぶ鴻巣山と、甲辰國とを結ぶ東南の線を、その中心基線とした、波佐見町の誕生を心からお祝ひ申します。

新町の誕生は、戦後苦難十年を歩む祖国日本が、再建活現のための要請としてとつた重要な一布石であり、又合併協力による自主的活力の新生であると考へます。

これに新町今後の育成発展が大きく期待されて来る訳でありませう。

私達が生れ出た新しい波佐見町を、如何に育てゆくかといふことに心を砕いていくことが、今日から重要な問題でせう。

臨産受苦の母性は、生み終ると生むまでの苦しみを忘れて、子の顔を見、力強い生き声を聞くのを何よりの楽しみとして、幼な児を育てていきます。

私達はこの母親の心に立つて、新生の波佐見町を、知性と教養の一心館を建設、波佐見町の誕生を心からお祝ひ申します。

新町の誕生は、戦後苦難十年を歩む祖国日本が、再建活現のための要請としてとつた重要な一布石であり、又合併協力による自主的活力の新生であると考へます。

これに新町今後の育成発展が大きく期待されて来る訳でありませう

（一）　昭和31年8月25日　みさは報館　（第二号）　（月刊）

# 議会報告（一）

昭和三十一年七月三十日、臨時議会は午前九時役場内議会議場において開催、日程を左記の通り決定した。

議案第三十九号　波佐見町助役定数条例制定について

町村合併に伴い行政事務繁雑及び新農村建設指定町としての事務遂行に依り二名の定員を提案し原案通り可決された。

議案第四十号　助役選任について同意を求むるの件

前下波佐見村長久松清吾及び前上波佐見町助役田川好松の両氏を選任し提案し原案通り同意した。尚元上波佐見町助役川川好松氏を本庁勤務助役、田川好松氏を支所勤務助役とし支所長兼務とする旨町長より説明があつた。

議案第四十一号　収入役選任について同意を求むるの件

前下波佐見村収入役道添国重氏に対し議会は同意した。

（尚前記助役及び収入役は八月一日より就任した）

議案第四十二号　町長、助役、収入役の給与に関する条例制定の件

総務委員会としては入口その他近接町村と比較し旧町時代より若干昇給してとの意見であつたが、町長としては町財政の状況より昇給はおもしくないとの意見で現行給与及びそれ以下で提案し原案通り可決された。

町　長　給　一、〇〇〇円

助役（本庁）三、〇〇〇円

助役（支所）二、八〇〇円

収入役　給　一、〇〇〇円

議案第四十三号　退職慰労金支給について

原案（左記）通り可決された。尚これは旧町村の三役に対する慰労金である。

前下波佐見村長　久松清吾　三、〇〇〇円

元上波佐見町長　福重次郎　三、〇〇〇円

元下波佐見村長　久松清吾　二八、〇〇〇円

元上波佐見町助役　川川好松　二四、〇〇〇円

元上波佐見町収入役　宮崎清次郎　二四、〇〇〇円

元下波佐見村収入役　道添国重

（議会事務局）

# 議会報告（二）

波佐見町第一回定例議会は、昭和三十一年八月八日、午前九時町議会議場に招集し、左記議案審議の結果夫々原案通り可決された。

記

午前十時議長開会を宣し、日程を一日と決定し、議案上程審議に入つた。

議案第四十六號　波佐見町青年學級講師並講師補佐給与条例制定の件

議案第四十四號　波佐見町青年學級講師と入口その他近接町村と比較し旧町時代より若干昇給してとの意見であつたが、町長としては町財政の状況より昇給はおもしくないとの意見で現行給与及びそれ以下で提案し原案通り可決された。

町　長　給　一、〇〇〇円

助役（本庁）三、〇〇〇円

助役（支所）二、八〇〇円

収入役　給　一、〇〇〇円

議案第四十三号　退職慰労金支給について

原案（左記）通り可決された。尚これは旧町村の三役に対する慰労金である。

前下波佐見村長　久松清吾　三、〇〇〇円

元下波佐見町長　福重次郎　三、〇〇〇円

元上波佐見町助役　川川好松　二四、〇〇〇円

元上波佐見町収入役　宮崎清次郎　二四、〇〇〇円

元下波佐見村収入役　道添国重

（議会事務局）

議案第四十四号　昭和三十一年東彼杵郡波佐見町歳入歳出暫定予算について承認を求める件

これは地方自治法第百七十九条第一項の規定に基き、昭和三十一年六月二十五日町長の専決処分に附した分であり、定時制高等学校の校舎建築費の十六万二千二百円の追加であり原案通り承認された。

議案第四十五号　昭和三十一年度東彼杵郡波佐見町（旧下波佐見地区）特別会計國保事業費歳入歳出追加更正予算について承認を求める件

本案は前議案と同様町長の専決処分に附した分で、過年度分療養費の不足額二五〇、〇〇〇円であり原案通り承認された。

以上七議案全部会審の中に終始熱心な審議をして午前十一時十分閉会した。

（議会事務局）

議案第四十四号　昭和三十一年度東彼杵郡波佐見町（旧下波佐見地区）特別会計國保事業費歳入歳出追加更正予算について承認を求める件

これは地方自治法第百七十九条第一項の規定に基き、昭和三十一年六月二十五日町長の専決処分に附した分であり、定時制高等学校の校舎建築費の十六万二千二百円の追加であり原案通り承認された。

議案第四十五号　波佐見町公民館設置条例（昭和三十一年条例第二六号）の一部を改正する条例制定の件

波佐見町公民館設置条例中左の通り改正し公布の日から施行する。

第三条中館長一名、副館長二名、主事三名以内、「雇員一名」とあるを「館長一名、副館長二名、主事二名、青年學級講師一名、雇員一名」と改稱する。

附則

この条例は議案第四九号と一かつ上程し昭和三十一年度から適用する。

議案第四九号　波佐見町公民館設置条例（昭和三十一年条例第二六号）の一部を改正する条例制定の件

波佐見町公民館設置条例中左の通り改正し公布の日から施行する。

第三条中館長一名、副館長二名、主事三名以内、「雇員一名」とあるを「館長一名、副館長二名、主事二名、青年學級講師一名、雇員一名」と改稱する。

附則

この条例は議案第四九号と一かつ上程し昭和三十一年度から適用する。

議案第四九号　波佐見町奨學金積立並びに管理条例制定の件

波佐見町奨學金積立並びに管理条例制定の件

本条例は議案第四九号と一かつ上程し昭和三十一年度から適用する。

議案第四九号　波佐見町奨學金積立並びに管理条例制定の件

本条例は議案第四九号と一かつ上程し昭和三十一年度から適用する。

議案第四九号　波佐見町公民館設置条例（昭和三十一年条例第二六号）の一部を改正する条例制定の件

波佐見町公民館設置条例中左の通り改正し公布の日から施行する。

第三条中館長一名、副館長二名、主事三名以内、「雇員一名」とあるを「館長一名、副館長二名、主事二名、青年學級講師一名、雇員一名」と改稱する。

附則

この条例は議案第四九号と一かつ上程し昭和三十一年度から適用する。

議案第四九号　波佐見町奨學金積立並びに管理条例制定の件

# ☒和で結び、愛で包んだ、よい社会

## 就任の御あいさつ

私共はさきに実施されますが、御承知のように私共は至つて微力短才でありまして、皆様方の御期待に副ふことはできませんが、今回町民皆様の深い御同情つておりますが折角の御厚情に酬ゆるため全精魂の続く限りは御奉公して見たいと決心としまして、それ〳〵就任しておるのであります。どうかこれまで以上に御指導御鞭撻下さいますことになりました御厚情に感激に堪えません。この機会に衷心より御礼を申上げたいと存じます。

今更申上ぐるまでもありませんが、新町は遠大な理想と幾多の希望を抱いて発足したのであります。従つて今後新町の育成と発展のためには、大なる責任を負けはされておるのであります。

助役　久松清吾
助役兼農業委員会事務局長　田川好松
収入役　道添国重

## 波佐見町 農村振興協議会 生れる

農林省が今後最も力を入れて農山漁村の振興を図ろうとゆうので、農山漁村振興特別助成事業が実施されることになり、本町はその計画樹立町村に指定された。丁度昭和七年、波佐見が経済更生特別助成町村に指定されたのと同じような趣旨であるが、先づ第一に個々の農民の増産、研究意欲の振興を前提とし、これに依つて各戸の農家計画を立て、之が中心となつて生れて来る共同計画を遂行しようとゆうものである。

事業は
1三割～五割の補助をやる事業（補助単独事業）
2金を貸してやらせる事業（融資単独事業）
3補助及び融資共にやる事業（併合事業）

2農業委員会代表
（東）田崎秀松
（南）谷添初工門
3農協、土地改良区及森林組合の長
（農協）光夫
（農協）一瀬イシ
（農協）橋本初一
（農協）三岳春男
（土地）福田利吉
4部落代表
中尾清次
三股太田茂四郎
永尾長崎勇太郎
馬場鶴一
小樽野々川湯無田井石
石本近市
福島伊工門
山川京一
福田万里
和島源治
折敷瀬田中千一
森田安次
村本黒板力枝
中尾武末
皿山稗木場山下増市
赤松好郎
川内谷村源一
岳辺田未定
甲長野松下熊一
乙長野山本秀治
松本卯一
坂本十蔵
中山吉川朝夫
5青年、婦人団体の代表
（青年）野沢義典、原尾善真
（婦人）野沢もん、福田藤枝
6学識経験者
西陸子、長岡文家
永富貢、野沢栄治
宮崎清次郎

事業（融資単独事業）

1議会議長
中尾謙吾
副会長　前田靖（町長）
（県農業委員）
委員
会長　福重武次郎（町長）
（町長）

事業が実施されることになつている）

去る八月三日、南地区川高分校で第一回の協議会が開かれ左の役員が選任された。

## 公民館 本年度の運営方針

「社会教育はユリカゴから墓場までの教育である」と言われる。それほどに対象が複雑多岐であり、広範囲である。

今度合併によつて公民館も統合され、事務局は専任主事一名、係員一、青年学級講師一、嘱託主事二名を以て運営し、他に嘱託の青年指導員、青年学級講師の協力を願うことになつたが、この広くなつた地域を、これだけの人員では、到底充分にお世話が出来ないので、分館、民主団体等の自主的活動をお願すると共に、運営委員を始め一般町民の方の絶大な御協力を得て、最善の努力を致す覚悟であります。

◎運営方針

各方面に亘つて普遍的に行わうとしても効果が上らないので最も重要な事項を重点的に取上げて、能率的な運営をしたい本年度は成人の精神教育（道徳教育）と産業教育に重点をおく

㈠教養方面
1成人教育
分館の幹部講習会講演会、講習会、公民館報等の利用
2青年学級婦人学級
東南各地区の従来のよい所を取上げ、地域の実情に応じた社会学級の実際に役立つ振興を図る。
青年団、婦人会がもつと自主的にうんと公民館を利用されるようお願する。

㈡産業関係
南地区では部落の熱心家の自主的な結成で農事研究会八、蚕業振興会一、4Hクラブ一が結成されているので、技術方面の指導を改良普及員が担当し、公民館ではその育成援助に努めている。川内の吾作会の如きは、昨年独立の会館（写真の通り）を建設し、本年度は一段歩の共同研究田を購入し、改良農具を共有し、先進地の視察を行い昨年度は全会員殆んど来反当拾俵の実績を挙げた。

◎青年団の振興
青年団は逸早く統合をやり遂げた。役員、団員一致団結して、波佐見町にしつかり根を下した、魅力のある団活動を自主的に進めて貰い度い。然し未だどうしても社会の理解と一派相通じているのが全部落にも支部がおかれてある外、部落農事研究会一、4Hクラブ二、があり、主として農協及び改良普及員が指導している。

今後、夜場経済課、農協、普及員及び蚕業指導所、工業組合等と密接な連携を保つて、産業教育の振興に努め、新農村建設に蟲したい。

◎その他社会福祉関係体育、新生活運動等の振興に努める。

南支所と所員

## 「ソ連の実情を聞く」 ——講演会——

公民館では去る三月開始される前であつた十年三ヶ月のソ連抑留の生活を終えて帰国された「在ソ戦犯者帰還促進会」の幹事として活躍義であつた。

されている小笠長氏の来町を機に「ソ連の実情を聞く」講演会を左の通り開催し講演が済んでから座談会をしたが、丁度日ソ交渉が

ソ連の実情を聞く
公民館夾中央一会講演

## 青年団論文（一のそ）

### 女子青年に望む

金屋支部　原和子

我国の過去の歴史を見ても、男尊女卑の流れでありました。

女性が男性の実力に劣つているからと分館の底からいう観念にしばられずに、どこ迄も男性とは同等の立場と権利を主張して、男性に負けない意気込みが大切であります。

それには若い女子青年の情熱が大きな役割を進歩を念願して私の所論を終りたいと思いま

いきであります。このためには私達が女子青年としての修養を真剣に考え、かつ、たゆまず勉強して行く向上心が最も大切であります。

女性は仕事の上においても、天分の上においても男性とは違う面があるということを認められるようになつて来ました。

今迄は、人間である前に女性であれ、と社会は要求し続けて居ました。これからの女性は、女性としての職分を理解しながら、必要な技能を身につけると同時に、人権尊重の精神を考えて、そこにどうして忘れてならないものは、両親の尊い御恩です。

義務があるかを女性として理解し、自覚を高めることが必要だと思います。

言葉も今も呼ばれる言葉は「おなご」と云う同じ語いんでありますが、今迄はその言葉には、一種軽蔑した観念が含まれていたことは何れも熱心な質疑応答がおゝえません。男子よりも一段も二段も低い地位にあるように思われていたものです。私時のあの苦しかつた食分をもつと謙いて意義深い人生を送るように努力しようではありま

## 青年団論文（二のそ）

### 有難い親様

井石支部　井上春枝

清新日本の建設を背負う若い青年達は、年私達は、なり或時はかづらとなつて努力されたことで御座いましよう。そんな事も今の私達には馬の耳に念仏と同様に思つてはいないでしょうか？自分一人で大きくが一番忘れがちであつようか？私達は常に自分を反省しましよう。雨親程ありがたいものは外にないのです。私達が遠くにいても、常に見守つて下さる人は親だけでございます。この世で雨親を持つていると云う事だけでも私達は幸福であります。私達は幸も今の私達は馬の耳に念仏と同様に思つてはいないでしょうか？自分一人で大きくが一番忘れがちであつようか？私達は常に自分を反省しましよう。雨親程ありがたいものは外にないのです。私達が遠くにいても、常に見守つて下さる人は親だけでございます。この世で雨親を持つていると云う事だけでも私達は幸福であります。私達は幸

先づ何を考えて生活すべきでしようか？私は先づ常に自分の心を見る目：自分を反省する：を養い度いと思つてはいないでしようか？自分一人で大きくが一番忘れがちであつようか？私達は常に自分を反省しましよう。雨親程ありがたいものは外にないのです。私達が遠くにいても、常に見守つて下さる人は親だけでございます。この世で雨親を持つていると云う事だけでも私達は幸福であります。私達は幸

の活動は、このことを根幹としてあらゆる女性の隠れた長所を発揮して、社会福祉のための活動を起していくべきであります。このためには私達が女子青年としての修養を真剣に考え、かつ、たゆまず勉強して行く向上心が最も大切であります。

女性が男性の実力に劣つているからと分館の底からいう観念にしばられずになつて立消えるおそれがあります。堂々と女性の立場と権利を主張出来るような自分になりたいと思いつゝ、女子青年の方々の奮起と

# 傳士人見佐波

（一）

## 田頭が生んだ◆世界の文學者 黒板勝美氏——の巻

公民館　永富貢

故黒板勝美氏（上博士文學）

（まえがき）

六回に亘つて書き続けた「下波佐見人士伝」も合併によつて大きく「波佐見人士伝」と変つた。それだけ波佐見出身の人士を選ぶ範囲も広まつたのである。第一回に医学博士小鳥居才吾氏、第二回に高月信吉氏、第三回に黒板勝美氏と黒板伝作氏の記事を載せ始めて前回には「黒板兄弟愛の巻」として、貧困の中に兄弟が互に助け合い聞の小説代りに、公民館報を面白く楽しく読んで戴き度いと云う念願で、脳溢血のために外ならない。皆様の暮、的の学者となり、弟伝が人士伝の資料をどんたが、逝去当時は東京帝大の名誉教授として亦国宝保存会の委員をして居られた。

三男五女あつたが男子は何れも早世のため三女冬至子さんに嗣子を迎えた。嗣子昌夫氏は父君の後を継いで現在文化財保護委員会へ勤めて居られる。

## 博士の逸話

黒板博士は丈が低く、晩年非常に肥えられたので殆んど和服で通されていた。

博士の専攻は日本国史であり、国史の権威者であつたから、史実に於ても苦学して遂に日本一の東京帝大文学部を卒業されたことは波佐見地区の方々も一館報しもはさみ」のお許し下さること、思う。

## 波佐見人士伝のねらい

次いで東京帝大史料編纂官、同大学講師、同助教授に進み、明治三十八年文学博士の學位を受けた。

卒業後雑誌社に入りいは、こんな九州の田舎からでも一所懸命に奮闘努力すれば、この国家的学者を央〜寄せて下さるようにお願する次第である

## 黒板博士の略歴

黒板勝美氏は黒板要平氏の長男として、明治七年田頭に生れた。父君要平氏は多年警察官として各地を廻り佐賀県小城町の警察署長を最後に警察を止めて折尾瀬の村長を勤め明治三十一年には館報の創刊号の年表に書いたので、上波佐見の四代村長をやつて居られる勝美博士はこの家の三男であつたから、史実の中から苦学して遂に日本一の東京帝大文学部を卒業されたことは波佐見地区の方々も一館報しもはさみ」のお許し下さること、思う。

## 辭式

本日こゝに上波佐見町青年團及び下波佐見村青年團が發展的解消をなし、波佐見町青年團として輝かしい結團式を擧行するにあたり、一言御挨拶申上げます。

本日は町長殿を始め來賓各位には公私共御多忙の折にもかゝわらず、多數の御臨席の榮を賜りました事を光榮と存じ、團の將來發展の爲心から御祝申上げます。

二十年終戰直後のあの混沌たる世相の中、兩團共に社會の信望を擔え團員相互の融和團結をスローガンとし、寄與したいと考えて居ります。

以上淺はしながらも、今日迄の道程に於いては幾多の難關も經驗して有田を凌駕して居る狀態であります。

斯様な波佐見町産業の現情を考えます時、本町の將來を担つて行く青年諸子の責務は誠に重大なものがありまして、町の盛衰は一にかゝつて諸子の双肩にあると申しても過言ではないのであります。

諸子は波佐見町發展の原動力として、各方面に練磨精進され、この歴史的統合に依つて生れた我等が郷土波佐見町を、更に振興發展させる爲に、鞏固な團結の下に進まれん事を今日の意義ある門出に當り切望致しまして、祝辞に代える次第であります。

昭和三十一年八月一日

波佐見町長　福重武次郎

## 祝辞

私達の郷土波佐見町は皆さんの様な青年團が生れることになりました。

既に御承知の通り、去る六月一日を以つて雄々しく出發、新たな歩みを力強く進めて居ります。

米麦の農業は素より蔬菜、園芸、製茶、植林等、幾多の計画が我が町内各種団体の完全一致しますならば、非常に裕福な農村が生れることになります。

又陶磁器の産額は後著しく増大致しまして、年産額も四億に迫つて居ります。近年関係方面の熱心に依りまして、国内に於いては波佐見焼の名声が肥前地區の代表製品として市場に歓迎されて居ります。

陶磁器の販売面に於いても、産地卸業者の努力に依り、戦後の発展は目ざましいものがありまして、北は北海道から全国に亘つて出張販売に従事し、その取扱高は肥前地区に於いて有田を凌駕して居る状態であります。

斯様な波佐見町産業の現情を考えます時、本町の將來を担つて行く青年諸子の責務は誠に重大なものがありまして、町の盛衰は一にかゝつて諸子の双肩にあると申しても過言ではないのであります。

諸子は波佐見町發展の原動力として、各方面に練磨精進され、この歴史的統合に依つて生れた我等が郷土波佐見町を、更に振興發展させる爲に、鞏固な團結の下に進まれん事を今日の意義ある門出に當り切望致しまして、祝辞に代える次第であります。

昭和三十一年八月一日

波佐見町長　福重武次郎

碑念記田生共

町内皆様方の御協力と御指導を宜敷く御願い申上げます。

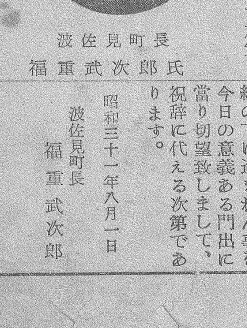
南去る七月二十八日、南中學校講堂に於いて、町村合併による青年団の統合問題も、種々検討致しました結果、早急に統合するのが適当なる処置であるとの結論に達しまして、町内各位の絶大なる御協力により、去る七月二十九日両波佐見町青年團も解団式を終り、八月一日、町講堂に於いて盛大なる結団式を擧行、晴れて新しく波佐見町青年團が誕生致しました。

本部役員

團長　中尾豊

副團長　野元義則（野々川）　広瀬孝子（井石）　石隆光（協和）

村弘人（田頭）



波佐見町青年團長　中尾豊

昭和三十一年八月一日

町村合併による青年団の統合問題も、種々検討致しました結果、早急に統合するのが適当なる処置であるとの結論に達しまして、町内各位の絶大なる御協力により、去る七月二十九日両波佐見町青年團も解団式を終り、八月一日、町講堂に於いて盛大なる結団式を擧行、晴れて新しく波佐見町青年團が誕生致しました。

本部役員

團長　中尾豊

副團長　野元義則（野々川）　広瀬孝子（井石）　石隆光（協和）

村弘人（田頭）

## 青年団便り



碑念記田生共

立つ前に県道側の附帯附近の黒板兄弟

## ハエの

## せくな、あせるな腰すえろ。

○家族全員皆健康で、腰ミノを付けた頑張である。

○一番仕舌こよ

博士は非常に食通であつた。各地に出張されるので、あちこちの名物に詳しかつたので電話して京都の御中博士の講演会場を探させお弟子さん達はよく物の講釋を聞かされたものだ。それで大學卒業生の謝恩会等では「君達が成功したらとか、偉くなつたら、等とは云わないが、僕の市中を探したところ、君達の行つた先々の土地の名物を送つて呉れないか、僕は各地の珍味を味わうのが楽しみだ」と、よく冗談半分に言われたものだつた。

それで博士の家庭には知己やお弟子さん達から、始終山海の珍味が送られるので、居ながらにして日本国内の色んな満鮮の名産さえも味わえるのであつた。

博士は特に京都や奈良行かれることが多かつた。ある年京都へ行つて、朝日新聞社の社長村山龍平氏等二三の人達に呼ばれてある料亭に行かれた。博士は酒は下戸で、ホンの盃二三杯飲りであつたが頗る大食家で、永炊の鯨二羽を軽く平らげたあげく「僕はこれかも講演会に行かねばならんからな先に失礼」と云つて、衣桁にかけてあつた袴を高々とはき羽織の紐をしめながらサッと出て行つてしまつた。

残つた人達が食うだけ食い、飲むだけ飲んだ段になつてから、サア帰ろうという論に達しまして、町内各位の絶大なる御協力により、去る七本部役員

團長　中尾豊

副團長　野元義則（野々川）　広瀬孝子（井石）　石隆光（協和）

村弘人（田頭）



波佐見町青年團長　中尾豊

昭和三十一年八月一日

波佐見町長　福重武次郎

◇熱と努力が成功のもと。

## 会作の内川吾

### ◎本年度の稲作計画

一、例年の通り各人一反歩当り試作田を設置、日本一及び農協主催の競作会に参加する。

二、各人の試作田に研究畝を設け、肥培管理等が一見してわかるようにし、各人の感想や意見を記入して相互の反省研究の資料とする。

三、次の様に普及員の指導のもとに生育調査を行い、綜合結果を把握し記録をとり今後の稲作技術の改善の指針とする。

**七月二十七日**
各四〇株当りの茎数草丈を調査し、培土時期、肥培等を検討する（有効茎確保のため）

**八月十日**
茎数、草丈、培土効果、穂肥の時期及び可否等を調査

**九月十五日**
穂数、草丈を調査

**十月十五日**
粒数計算、坪当株数穂数、粒数（完全粒）の調査

**十月二十五日**
坪刈調査

**十二月**
反省会

以上の予定である。

### ◎共同研究田

**一、面積一反歩**
土質砂土、地力下

本年右の田地を共同研究田として購入した。特に秋落常習田のため取敢えず左表のように肥料比較試験を行うこととし、今後は品種や肥培管理等各種の比較試験を行い、秋落水田に於ける水稲作の改善を図る。

**二、品種**
農林三十七号

**三、栽植様式**
五寸×五寸
一尺四寸×二条植

| 一区 | | |
|---|---|---|
| 肥料名 | 元肥 | 追肥 |
| 硫安 | 四メ一、三メ | 一メ |
| 過石 | 八 | |
| 塩加 | 三、五一、 | |
| 青草三五〇 | 稲粕 三、 | |
| N | 一メ四五〇匁 | |
| P | 一メ三五〇匁 | |
| K | 二メ二八〇匁 | |

| 二区 | | |
|---|---|---|
| 右一区にマンガン施用 | | |

| 三区 | | |
|---|---|---|
| 肥料名 | 元肥 | 追肥 穂肥 |
| 尿素 | 二メ〇、六メ〇、三メ | |
| 溶燐 | 八 | |
| 塩加 | 三、五一、 | |
| 稲粕 | 三、 | |
| 青草三五〇 | | |
| N | 一メ四三〇匁 | |
| P | 一メ三五〇匁 | |
| K | 二メ二八〇匁 | |

| 四区 | | |
|---|---|---|
| 右三区にマンガン施用 | | |

| 五区 | | |
|---|---|---|
| 肥料名 | 元肥 | 追肥 穂肥 |
| 硫加 | 六メ二、三メ〇、三メ | |
| 燐安 | | |
| 塩加 | 二 | |
| 稲粕 | 三 | |
| 青草 | 三五〇 | |
| N | 一メ四四〇匁 | |
| P | 一メ一八〇匁 | |
| K | 二メ三五五匁 | |

**六区**
右五区にマンガン施用

**五、今までの経過**

**七月二日** 田植

**七月十七日** 二回バラチオン剤撒布

**十一日** 中耕ン排土機）

**十六日** 中間追加中耕ン排土

**二七日** 生育調査

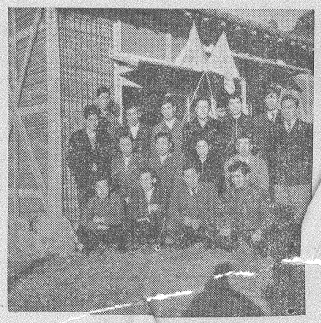
**六、今後の予定**

**八月十日** セレサン撒布 穂肥

**十一日** 螟虫二化期バラチオン撒布

**十二日** 收穫予定

生育調査は試作田に準じて行う。



吾会と協会員

## 考える農業

農業改良普及員 福田忠茂

暑い一日を野良に過し多かつたし、病気も多かつたが、明るい電燈の下で読書いようだつたが、牛にふけつていると、どこからともなくとんで来た色々の虫が灯の周りで運動会を始める、風が無い蒸し暑い夜等羽音を聞いた丈でも実にしやくに障る。しかし、私達はこれをただそれだけで片付けられないものがあるのではないだろうか。

「今夜は二化螟虫が沢山とんでくるが、これはどういう訳だろう」と一應疑問を持つべきではないだろうか。

今年は果菜類が割合に値が良かつたのは何故だろうかと人さんは考えた。五月六月の長雨も少なくつくりして、夜は病気が多くてとれなかつたのだろうか、？しかし昨年も雨は相当いつもあつたのだろうか、？

近所のCさんは晝休みも少なくつくりして、夜は早く切りあげた。

## 秋蒔野菜

## 栽培と品種

農業改良普及員 中川務

蔬菜は人類の保健食糧として欠ぐべからざるもので、蔬類の多い事と常に新鮮なものを食卓に供給することに依つて、更にその価値が高められます。この土地に適する小面積の家庭菜園や、営利栽培の蔬菜園芸にしても、只蒔くだけでなく、立派な品物をよく多く收獲出来る様に種につき述べ、参考に供、品種の問題、作り方等を研究して見る必要があろうと思いますそこで夏野菜も峠を越す頃になると、秋蒔野菜の作付を計画せねばなりません。一雨降れば何でも無計画に蒔いて事足れりとし、折角作り上げた物が、量が少なかつたり、品質が悪かつたりして、失敗することは多いものです。

### 一、結球白菜

**イ早出栽培** 七月下旬より八月中旬に播いて、十月上旬より十月下旬に收獲し、普通白菜の出荷される前に販売するもの。併しこの地帯では当時は高温で直蒔は無理、練床に蒔いて八月下旬より九月上旬に移植せねばなりません。

**ロ普通栽培** 八月下旬より九月上旬に播いて、十一月下旬より一月中旬に收獲するもの。

品種は非常に多いが適品種と思はれるものは、野崎白菜二号京都三号、松島系統の白菜

**ハ晩出栽培** 九月下旬より十月上旬に播いて、十二月中旬より二月上旬に收獲し、白菜の品切れの時出荷するもので、出来るだけ暖かいところが良い。

品種は島郷白菜、野崎春蒔一号等が適当

### 二、大根

**イ秋用** 七月上旬より八月下旬に播いて、九月上旬より十月中旬に收獲し夏の美濃早生大根の後に出荷するもの。

品種は志村美濃早生が適当。

**ロ冬用** 九月上旬より九月下旬に播いて、十二月中旬より一月下旬に收獲する普通栽培。

品種が多く あらゆる品種が播かれる。美濃早生、理想、宮重、高倉、早太り練馬、聖護院等が適品種。

**ハ春用** 九月下旬より十月下旬に播いて、二月上旬より三月下旬に收獲し、大根の品薄の時出荷するもの。

品種は練馬 三浦春若等が適品種

### 三、人参

**イ夏蒔** 六月中旬より九月上旬に播いて、十月中旬より三月上旬に收獲するもの

品種は黒田五寸が適当

**ロ冬蒔** 十一月中旬より十一月下旬に播いて、五月上旬より六月中旬に收獲するもの。

品種は中村鮮紅太が良く、三寸人参でもよいが、低温乾燥の後温暖多湿となる関係上、色付が悪く根が割れ易い欠点がある。

### 四、玉葱

**イ早出** 八月下旬より九月上旬に苗床に播き、十月中旬より十月下旬に本畑に定植四月上旬より五月中旬に收獲し、葱類の品薄の時出荷するもの。

品種は極端な早出を狙つて有利なものに愛知白玉葱があるが色が白く貯蔵力はない。次に出荷出来るもの貝塚早生玉葱。

**ロ普通** 九月中下旬（二十日前後）に蒔き六月上中旬に收獲するもの

品種は泉州黄玉葱で貯蔵力には稍弱い欠点があるが、数量では之に勝るものはない。

**ハ貯蔵** 九月下旬即ち普通蒔より一週間遅れて蒔き、十二月上旬に收獲し、九月以降の玉葱の品切れまで貯蔵して出荷すれば有利。

品種は甲高黄玉葱で今井系のものが抽苔は少ない様である。

### 五、甘藍

甘藍は播種時期の範囲が非常に廣く、年中收獲される様な周年栽培が可能であり外藥等家畜の飼料として使へるので、家畜と結び付けた栽培が有利である。

品種は主として晩生種を用ひ、古宮晩生増田中生、南部甘藍等は適品種。冬蒔は五月下旬結球を始めるまでに、充分葉面積を廣げて置くことが大切。

**イ晩夏蒔** 八月中下旬に蒔き九月下旬から十月上旬に定植して十一月上旬から十二月下旬まで收獲するもの。

品種は豊田二号崎夏蒔が良い。

**ロ初秋蒔** 九月中旬に播いて、十月下旬から十一月中旬に定植し、四月中下旬に收獲するもの。

品種は抽苔の危険の多い時期であるので豊田早生、渡辺早丸が生育も早く收量も多い。

**ハ秋蒔** 九月下旬から十月下旬に播き、十二月中下旬に定植し四月下旬から六月上旬に收獲するもの。

品種は野崎中生、豊田早生、一苦労するものであサダヤ晩生等が良くあまり早蒔すると不結球抽苔することが多いが、八月よりあるので、注意せねばならない。十一月中下旬に播き、三月中下旬に定植して、六月下旬から八月下旬に收獲するもの。

以上の様に播種時期と品種の間には密接な関係があるが、最初にも記した通り、外に種々の要素があり、完全な生育をさせるためには池中生豊田早生、三る。紙面の都合上、詳細について記すことは出来ないが、八月より農協内に農事相談所を開設して、皆さんと面接の上御相談申上ける事にしていますので御利用下さい。

### 六、ほうれん草

**イ秋蒔** 八月中旬から十月下旬に播き、順次間引し乍ら收獲するもの。

品種は早蒔のものは耐暑性の強いうじようが良く、次に若草や日本種と洋種の交配種である次郎丸が生育も早く收量も多い。

品種は主として晩生種を用ひ、古宮晩生増田中生、南部甘藍等は適品種。冬蒔は五月下旬結球を始めるまでに、充分葉面積を廣げて置くことが大切。

**イ晩夏蒔** 八月中旬から十月下旬に播き、順次間引し乍ら收獲するもの。

品種は豊田二号崎夏蒔が良い。

**ロ初秋蒔** 九月中旬に播いて、十月下旬から十一月中旬に定植し、四月中下旬に收獲するもの。

品種は抽苔の危険の多い時期であるので豊田早生、渡辺早丸が生育も早く收量も多い。

**ハ秋蒔** 九月下旬から十月下旬に播き、十二月中下旬に定植し四月下旬から六月上旬に收獲するもの。

品種は野崎中生、豊田早生、一苦労するものであサダヤ晩生等が良くあまり早蒔すると不結球抽苔することが多いが、八月より農協内に農事相談所を開設して、皆さんと面接の上御相談申上ける事にしていますので御利用下さい。

## 緑蔭

宿郷 池田生

ラジオ体操はじまるよりの蟬時雨
雲の峰さら〳〵けぬる瀬を釣りぬ
滝つぼの魚の玲瓏と手をつく
滝にうたれ総身虹をもてあそぶ
雷やんで雲けんらんと食卓へ

# 長崎県婦人大会に出席して

東婦副会長　橋本しく

七月二十三日　長寺かり手を振つて、悪い小學校に於て行われた風習、障害を打破して大会に本部より二名出歩武堂々と進む時、必ず私達の祈る眞心はす見えぬうだる様な講堂べてに容れられるので超満員の会員は、酷あるといふ信念を一段暑ものかわ、社会浄化に、明るい家庭の建設に、人類の平和に等々私達の前に、後に継続にころがつていてしかも私達が全力をあけてなさねばならぬ数の問題を自分の心の奥底は勿論、世界の果まで響けよと涙ぐましい迄に真剣な研修の一日を過した。女は弱しされど母は強し、一人の母でさえかくあるのに、二十万の母親が小事にこだわらず、しつ

△一人一役主義で負擔を軽くする。
△お互に助け合ひ思ひやりをもつて事にあたる。
△輪番制で役員をやつて行く。
△推せんによる選擧はあぶない。

## ②出席を良くするには

△明朗な運営をやること。
△時間励行を実行すること。
△小グループ活動
△男の会の時婦人会の出席表を提示する。

## ③役員になり手がないのはなぜか

○役員の重複によつて、責任が重過きて嚮つぶしが多い。
○家庭の人の理解がないため。
○一般会員が役員をあれこれ批判し評価するから。

## ◎解決案として

○家族全員皆健康
○一番世話になる嫁だから実子同様たてへだてなく平等に取扱ふ。
○姑（しゅうとめ）の笑顔が家庭円満の原動力である。
○常々家庭内には花を生け人の和をはかること。
○働くばかりがよい嫁でない。常に話し合い理解してもらう様に努力する。

## 2姑のある嫁の立場は

○明朗な運営をやること。
○時間励行を実行すること。
○小グループ活動
○男の会の時婦人会の出席表を提示する。

## 3小姑の立場では

○他人が入れば事が起ると云う先入感を打破し、物事にこだわらず何でもかくさず打とけて話すこと。
又常に姉（若嫁）を立てわるかつたらすなおにあやまること、父母と嫁（姉）との中をとりもち常に和に努力すること。

## 4未亡人の立場

○常に子供等にほゝえみを投ける母で原動力である。
○常々家庭内には花を生け人の和をはかること。
○働くばかりがよい嫁でない。常に話し合い理解してもらう様に努力する。

## 5息子の立場（母に何を求めるか）

○外出先から帰つてもやさしく迎えてほしい。つゝみかくさず自由に両親の前で話し得る雰囲気をつくつてほしい。

## 6後妻の立場

○子供等の性質を一日でも早くのみこみ常に子供と親しみ、子供本位に物事を考えてやること。

最後に全体討議で「原水爆禁止世界大会に何をのぞむか」と云う討議があつたが、原爆年に望み度い事は、何にもまれ作らも正しい況報告はじりじりやきつく眞夏の、しかも真日中の講堂の中に、とはいまして片親のさびしさを母のい静かな室の中にもびく泣きつゝうつたへらきの声はしばく、あれむごとくのろうが如く、うつたえるが如く、此の涙の奥底よりあの悲惨は二度とくりかえる人達であるので、各人の心構えるさま〳〵気で煙草を吸つたり、なのでありまず。中に酒を飲んだりしているは非常にしつかりした正しい心正しい態度でやゝもすればゆるみがちな自分の心をむち打つでしよう。学生時代出来、この暇が不良化は本当に真面目で良いの原因となるのです。此のような不良化したり、子供会学級等にがいても後の方で自分達丈で何かまつたく社会は恐ろしいものだとその噂きはぼそ〳〵話していて、どうく〵と自分の意見口で現わす事の出来ない程の悲しみではない。

## 青年團論文（その三）

### 教養部の活動を望む

永尾支部　谷口功

私のまず第一に現代青つて、苦しい社会の波討議があつたが、原爆年に望み度い事は、何にもまれ作らも正しい況報告はじりじりやきつく眞夏の、しかも真日中の講堂の中に、とはいまして片親のさびしさを母のい静かな室の中にもびく泣きつゝうつたへらきの声はしばく、あれむごとくのろうが如く、うつたえるが如く、此の涙の奥底よりあの悲惨は二度とくりかえる人達であるので、各人の心構えるさま〳〵気で煙草を吸つたり、なのでありまず。中に酒を飲んだりしているは非常にしつかりした正しい心正しい態度でやゝもすればゆるみがちな自分の心をむち打つでしよう。学生時代出来、この暇が不良化

## 夏の衛生に就いて

東婦厚生部長　寺田つる

人間の幸福それは先りますので、御承知とづ身心共に健康であること、思います。従つて一端をのべて、衛生についての健康なくしては皆無と云えましても広範囲に亘つて研究熟も時節柄食中毒、消化器系統の伝染病、殊に赤痢子供に多く、その病原菌は蚊が運んでくる事

この外支部の自主的なすので、家族の健康動きと致しまして、産業展の折には、折詰料必要か、少しでも理解出来る。

四、台所の改善へも目然目が開けて行く。おります献訣を発表することに依つて、発表も少し料理の講習を受けて、自分の腕を磨きたいとの意欲が強くなつたりまして、講習の回数が多くなつております

栄養的批判がありまして見ました。これは上から習つたものは、なか〳〵自分のものとして家庭に取入れられないと云ふ弊がありますので、お互同志の持つてつた乙長野支部、岳辺田支部の方は、臨分御苦労なされたと思ひますが、それだけに又身についた勉強になられたと思います。やつて見てよかつたと思ひました点は、

一、同じ会員の手になる料理なので、見せ行事表に依りますと、今のところ、偏つた行事となつております。

二、発表する側も隣保班単位で、競争気分も手伝つて研究熱もたかまつて来る。

三、保健所の先生から

コンクール」をやつて

## 生活部の行事と私の感想（其の一）

南婦、生活部長　古達光枝

三十一年度行事（南地区婦人会）

四月　保存食講習
　家計簿についての座談会
八月　家庭の合理化についての講演
九月　即席料理講習
十月　皿山料理コンクール
十一月　季節料理（チャンポン、皿うどん、親子丼等）
一月　精木場料理コンクール
二月　精進料理講習
三月　生活部の反省会

生活部の受持ちます研究部門は、衣食住其の自然、協力の意味で、他凡ゆる生活態度にわたつて、広範囲のものでありませうが、この進したい気持から、只今のところ、偏つた行事となつております。

漸次衣住の勉強へも進むかとも存じます。

これは二年ばかり前から、私達の会では保健衛生部でも、栄養知識と致しまして、「料理

◇心がけ、一つで住みよい、この世間

## 圖書館便り

前年度に買入れた図書プロジェクトの手引書産。万五郎青春記、世にも不思議な物語、赤穂浪士、新選組、加賀騒動、明治大平記十字路、吉野峡秘聞、柔肌峠、まぼろし峠、戀染の笠（上、下）母と、一本のマッチ、人間の生態、にんじん人間の心理、青春道場人間の歴史、武蔵父子（次号につづく）

村の生活改善

女のいろ〳〵ぶん、子供の世界と子供の幸福、二人の戀人、日輪、黄金のろば、ドイツイデオロギー、4日クラブ行事のやり方、農家のすまい

☒不足言うまい今日一日は、主婦の笑顔で明るい家庭。

## 京都へ　尾濃から

# 陶業視察記

井石郷　福重菊馬

去る七月四日先進地陶業視察の旅に出発、一行は広川県窯業指導所長外業者九名、五日朝名古屋着、直ちに本邦第一の陶都瀬戸市へ向う。同地の国立試験場を経て工業組合を訪問、加藤場長の説明でこの地方の大体の生産設備がこゝに一通りなされて居り、殊に最近施設された電気スヤキ窯は、一行の注目を集めて興深く今度が一番活況を呈しているものがあり、その他て居り、貿易の好調で機械や計器等、波佐見でも直ぐに応用出来るものがある。

試験場から市内の優秀工場一ヶ所を経て、滝呂に着く。此処は米国向コーヒー碗皿の本場、貿易の活況で各工場とも著しい生産能率を挙げて居る。滝呂を経て昔から飯碗の本場で有名な笠原に着く。然し此処は飯碗も成程度で、トンネル窯も五、六本を数えて居るに過ぎない。

加藤試験場長の個人工場の一部

（カンビンを釉薬につけてベルトコンベアで次の作業所に送る）

× × ×

今度の視察で特に感じた事は、尾濃地方は我国陶業の中心地であるに云えることは、先ず此の地元の窯業に対し考えを新にして観察して貰い度いことである。当地方の窯業は、歴史も古く、諸種の点からまだ〳〵発展の余地があり、今度視察した笠原等では農家の副業で窯を焼き、或は副業が本業になつて今日の大をなして居る由で現に農家の庭先に窯の煙突が立つているのが随分見受けられた。一応関係外の人も関心を持たれて素地の生産なり、進んで窯を焼く処迄、或は陶器商として立つて見られたらどうかと波佐見窯業の将来の為に愚見を参考に供する次第である。

以上誠に紫描の様な視察記であるが、皆さんの参考になれば幸である。

視察者
広川所長　平井仁兵衛
上田武久　武村清馬
一瀬尚一　武村孝一
馬場広水　高塚雄
福重菊馬　武村忠利

# 第五回少年野球大会

ば扉は開かれるものと信ずる。

尚陶業関係者外の人

ときー八月四日、五日前九時半福重町長の試球式で、いよ〳〵二日先づ午前九時入場式選手入場、国旗掲揚の後、本春の優勝チーム湯無田と永尾チームから優勝旗と準優勝カップの返還があつて、福田委員長の大会宣言、今里会長の挨拶、福重町長の祝辞、千代田審判長の注意があり、午前に亘る第五回少年野球大会の幕は切つて落された。

この日、連日の照り続けで、暑さにうだるプの選手諸君は少年の純真さと若い元気に溢れて、白熱の熱戦を繰り展けた。

両日の戦績次の通り

第一回戦

| | | | |
|---|---|---|---|
| 村中 | 10 | 1A …… | 2 |
| 木尾 | 10 | 7A …… | 17A |
| 宿皿 | 1 | 3 0 1 3 0A | 9A |
| 金井 | 1 | 1 0 0 3A …… | 13A |
| 永野々 | 2 | 1 6 0 4 4 0 | 21 |
| 折敷無 | 0 | 0 1 0 0 2 0 1A | 4A |
| 三鬼 | 1 | 2 1 5 0 | 19 |

小梅チーム不戦勝
（以上第一日）

（二日目）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 三湯 | 0 | 0 0 0 4 0A | 9A |
| | 0 | 2 0 0 3 0 1 | 6A |
| 皿井 | 1 | 1 1 0 3 7 0 | 29 |
| 中小 | 4 | 0 0 | 1 |

準優勝戦

| | | | |
|---|---|---|---|
| 永井 | 0 | 0 1 3 1 1 0 | 8 |
| | 0 | 1 3 1 0 0 5 | 6 |
| 中湯 | 0 | 1 0 1 1 0 5 | 9A |

優勝戦

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎湯永 | 5 | 0 3 0 0 4 0 | 21 |

以上の通りで結局優勝　湯無田チーム
二位　永尾チーム
一位　田崎美治
二位　江添利行
個人一位
個人二位
打撃賞
一位　東島勝義
二位　田崎義治
三位　久保田雅男

湯無田の対戦は優勝戦とも見らるべく、延長戦に入つて1点の差で湯無田が勝つたが、折敷瀬の惜敗は残念だつた。来年は全チームの一層の奮起を望む。

（町体育協会）

かくて薄暮迫る頃閉会したが、なか〳〵の盛会。第一日の折敷瀬、

# 電話のエチケット

電話は、おその玄関でだです、市外通話は、もし〳〵何番え？何ばん？と云つて下さい、かけたなるべくこの時間をさけるようにしていただくと、わりあい早くつながります。（午後十時以後）は料金も割引になります

六時から八時頃のあいだです、市外通話は、もし〳〵何番え？何ばん？と云つて下さい、かけたなるべくこの時間をさけるようにしていただくと、わりあい早くつながります。（昼草のむ暇もない）とは実際こゝのことだと暫らくあきれて見て居りました。

番号を言わずに、先方の名前を言つたり、交換手に冗談を言つたりさては交換手の出方が遅いとどなつたり……こんなことは慎しまねばいけないと、つく〴〵思いました。

皆様!!是非一度金鎖局寄つて実際を見て下さい。

よく売れるお店はキット電話の応対がお上手です。見えぬ電話に見える人柄。電話は心とを頼むので呼んで呉れるのが当然だ、とゆうように、ォウヘイな口調で頼まれる人があります。特に若い青年男女の方に多いようです。呼びに行く人が居なかつたり、深夜であつたり、遠方であつたり、しかもそれがオウヘイな口調であつては誰だつていやな気持が致します。

「まるい卵も切りよう」や四角、ものも言いようじや、角が立つ」

「どうもすみません」が「…誠に恐れ入りますが…どうもすみませんが…」

こんな言葉を一口入れたら如何でせう。

若い人たちは、こんな言葉を知らないのです。素直に言えるようのことを稽古して下さい。

# 呼出しを頼む人のエチケット

「モシ〳〵近所の○○さんを呼んで下さい」と頼むので呼んで呉れるのが当然だ、とゆうように、ォウヘイな口調で頼まれる人があります。特に若い青年男女の方に多いようです。呼びに行く人が居なかつたり、深夜であつたり、遠方であつたり、しかもそれがオウヘイな口調であつては誰だつていやな気持が致します。

「まるい卵も切りよう」や四角、ものも言いようじや、角が立つ」

# 編集後記

◇八十年振りの猛暑も漸やく峠を越して、朝廻しになりました。それでも未だ後晩は大分涼しくなりました。ようやく待ち望んだ雨に恵まれました。

青年団の論文三篇と金鎖局長さんの「電話のエチケット」は前に授かるよう努めましょう。

実行して、よいお婿さんや、よいお嫁さんが

八月十七日

（公民館編集係）

# 公民舘から

先日、金鎖局の電話交換のもようを見学しました。「何番え？」「何ばん？」と云つて下さい、かけたなるべくこの時間をさけるようにしていただくと、わりあい早くつながります。（昼草のむ暇もない）とは実際こゝのことだと暫らくあきれて見て居りました。

番号を言わずに、先方の名前を言つたり、交換手に冗談を言つたりさては交換手の出方が遅いとどなつたり……こんなことは慎しまねばいけないと、つく〴〵思いました。

皆様!!是非一度金鎖局寄つて実際を見て下さい。

# ◎役職員錄（追加）

## 衛生部長

今村　辰次

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中尾郷 | 今村 | 辰次 | |
| 三股郷 | 田崎 | 実男 | |
| 里見 | 永尾郷 | 川島峯太郎 | |
| 小椋郷 | 野々川郷 | 長嶋 | 低 |
| 湯無田郷 | 井石郷 | 早川 | 政吉 |
| 鬼木郷 | 松田 | 永田 | 仁助 |
| 折敷瀬郷 | 中村 | 準一 | |
| 一瀬九馬一 | 宿郷 | 村木郷 | |
| 沢村伊平次 | 一 | 皿山郷 | |
| 中沢 | 稗木場郷 | 古田 | 竹一 |
| 峯 | 重三 | 川内郷 | 文夫 |
| 久田 | 道添 | 辰治 | |
| 岳辺田郷 | 甲長野郷 | 松本栄太郎 | |
| 乙長野郷 | 平野 | 秀雄 | |
| 川田 | 文太郎 | 協和郷 | |
| 志折郷 | 山口 | 松蔵 | |
| 中山郷 | 原本 | 実 | |

右創刊号の名簿に洩れて居りました。尚本支所共経済課内の両地区農業委員会の事務局員の氏名が落ちましたので併せてお記し申上げます。

（左の名簿は切取つてお貼り下さい。）

報館はさみ
第3号
波佐見町公民館
電話(波佐見金鐵局)69番
大村市玖島町
印刷所　隆文社印刷所
電話838番

## 波佐見町初議会

# 議長に上田廣次氏が就任

十一月二日選挙後の初議会を開き議長選挙の結果左の通り當選決定した。

議長　上田廣次
副議長　中尾謙吾

## 波佐見町議会 常任議員決る

十一月二日第五回臨時町議会で次の通り常任委員が選任された。

（◎委員長、○副委員長）

**総務委員会**
◎中尾　謙吾
○松尾三一
上田　広次
今田　達美
谷村　源一
太田　鹿市
岩永　積次

**産業経済委員会**
◎松尾　政
○田崎　秀松
小柳　勇吉
島尾久米司
前田　靖
富木　久夫

**文教、厚生委員会**
◎田中　仁一
○福田　伊作
坂口　益夫
岳村　柾
富永四郎
松崎平藏
松下　熊一

**土木委員会**
◎今里　久香
○一瀬イシ
橋本　初一
澁川　正美
杢尾　忠光
一瀬　尚

## 監査委員

波佐見町の經営事業の管理及び出納その他の事務の執行を監査する委員が議会の同意を得て次の通り任命された。

橋本　初市
山本　秀治

## 教育委員会

委員長　林　平三郎
〃　池田　正道
委員　野中　武利
〃　朝長　武利
浦野　安
教育長　久松　清吾

## 警察便り ——その一

# みんなの力で

# 暴力を追放しよう

## ——泣き寝入りが一番の禁物——

社会を毒する〃街のダニ〃たちによって泣かされている方はありませんか？、われわれの周囲から暴力をなくし、平和な住みよい社会にするために、被害者はもちろん一般の方々の御協力をお願い致します。

昨年県下でおこつた暴力事犯は全部で三二四二件でした。このうち一番多いのが傷害で一〇五七件、暴行、脅迫、恐かつが七六一件暴力行為一三〇件、殺人一〇八件、強盗六件、強かん五一件その他となつております。また本年に入つてからは八月現在で一、〇一五件おこつております。

総数のうえでは昨年の同期よりやや減つていますが傷害などの悪質のものはかえつてふえています。これ等の数字は警察に届出のあつたものだけですから、「後難をおそれて泣寝入りする」未届の分を考えますと、実際には、もつとたくさんの被害があると見なくてはなりません。

つぎに最近の暴力事犯にはどんな傾向があるか調べて見ますと、

○不良少年すなはち〃チンピラ〃の犯罪が増加している。

○傷害、暴行、恐かつ、脅迫の順序で発生している。

○犯罪の時期は八月を頂点としてピラミツト型に発生しており、また祭礼、縁日など一番多い。

○場所的には市街地がもつとも多い。

方法は

×ちよつとしたことにいんねんをつける。

×個人、会社などの弱点を利用する。

×貸借関係や土地、家屋などの売買に介入する。

×特飲店に働く従業婦の就業に介入するなどあげられます。

〃暴力による被害は必ず警察へ知らせて下さい〃

今まで警察事件を知つて調査に行つてもなかなか届けをされない方がずい分多いようです。

そのため暴力団側でもそれをよい事にして次から次へ腕力を振う恐しい結果を招いています。どんな小さな被害でも泣寝入りすることはありません。暴力者によつて受けた被害はどしどし届けて下さい。

電話でも、口頭でも、投書でも結構です。そうすることがわたくしどもの社会を住みよくすることなのです。

〃お礼参りは心配いりません〃

よく後の祟り云々のことを耳にしますが「お礼参り」事件が既に犯罪でありますので、禍を残さないためにも皆さんの身辺の安全については責任をもつて保護いたします。今まで事件が詳しい事を話してくれないために、はつきりした証拠がつかめず検挙できなかつた時など警察は弱いといわれます。

その非難は忍びますがこのように被害者などが「あの人が刑務所に行くのはよいが保釋で出て来て暴れられては困りますから」等と取調べの途中ではじめとまるで違つたことをいわれる方がありますが、御礼参りをするような犯人は法律で保釋が許されないことになつていますし、法律の手続きで証人に出なくてもそれと同等の効力のある方法もありますので御安心下さい

（川棚警察署）

## 警察便り ——その二

# 少年の地金 鉄屑等取扱抑制について

少年の補導対策につき一段の協力をいただきつつあることは、感謝にたえない所であります。

然しながら関係各機関の熱心な補導にもかかわらず、社会環境や各種生活態様等の悪影響から少年の健全な成育が阻まれ、不良化するものの未だあまりにも数多い現況にありますことは、まことに憂慮にたえない次第であります。

かゝる現況に鑑みまして先日開催致しました少年補導連絡協議会において、防止対策の一環として採択されました、少年の地金古物等の売却取扱いの禁止が緊急問題として強力に実行に移すことになりますが、そこの際古物関係業者も多数出席して居られましたが、全面的に協力的態度で、少年からの品物は買わないことにするから少年に鉄屑拾や売却等の不健全労務や行為をさせないよう保護者側においても十分左記のことをお考え下さい。

記

少年に地金、屑鉄などを取扱はせることは知らずしらずの中に不良化するおそれがありますから次の事を守つて下さい。

一、少年の地金、鉄屑拾いをさせないように致しませう。

二、家の手伝いであつても重に監視し合いましよう。

三、地金鉄屑など少年からは絶対に買はないようにしましよう。

四、地金鉄屑など少年の売却取扱はお互が厳に止めましよう。

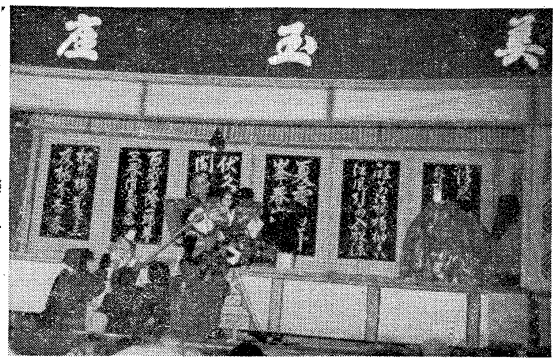
（川棚警察署）

## 町役場職員異動

十一月から左の通り一部異動が行われました

（カツコ内は旧任）

**総務課へ**
庶務係長—議会兼務　末岡　秋夫（農委）
庶務係—選管兼務　山下　鉄夫（厚生）
財務係　山村　正昭（教委）


一ノ谷……熊谷陣屋の段

皿山の人形浄瑠璃

戸籍住民登録係
〃
**税務課へ**
固定資産税係長　太田　春由（支所）
同　係　岩永　淑子（税務）
同　町民税係　岡沢　武男（土地）
同　〃　中尾　豊（総務）
森林カチ代（〃）

**厚生課へ**
衛生係長　田島　新一（経済）
同　係　山下　倉藏（支所）

**経済課へ**
農林係　松添　建美（農委）
同　係　松尾　栄作（税務）

**土木課へ**
建設係　谷口　進（新任）
**出納室へ**
出納係　浦川　正已（総務）

**南支所へ**
戸籍住民登録係　田添　強（総務）
**東農業委員會へ**
書記　坂井　三郎（出納）
**南農業委員會へ**
書記　吉川　益次（税務）

## 波佐見町 國民健康保険 優良團体として指定さる

当町國民保険は、去る二十七日東長崎町と共に、県下優良団体として指定され、大時計一個を授与された。

## 産業振興大会

恒例の産業生活展（　）の通り開催される。

産業振興大会は下記町民の皆様!!

波佐見町
貴町を昭和三十一年度国民健康保険優良團体として指定する
昭和三十一年十一月二十七日
長崎県

沢山出品して多数参観にお出下さい。

（役場経済課）

**東地区**
**十二月六日**
午前中　出品陳列
午後　審査
〃　**七日**
午前中　展示参観
午後　褒賞授与式
即売
婦人会漬物講習会

**南地区**
**十二月十六日**
午前中　出品陳列
午後　審査
〃　**十七日**
全日　展示参観
全町青年団
一人一研究発表会
〃　**十八日**
午後　褒賞授与式
午後　即賣

◆時間正しく計画立て、無駄を省いて先づ賣書

募集標語

◆努力して求めた機械で暇を得て、家内そろって音楽会

# 公民館（南地區）の

## 産業教育研究發表会

本年度始め東彼北高教育庁連絡所と兩郡公民館連絡協議会から、研究発表を委嘱されていた、本町公民館（南地区）の産業教育研究発表会は、十月二十六日南地区モデル農事研究会「吾作会」主管のもとに川内公民館で開催された。

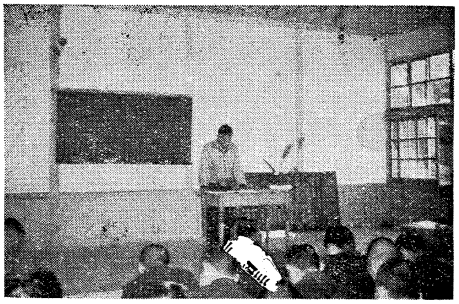
参会者は、兩郡公民館主事及び農事研究会員、町内農事研究会員四Hクラブ員、農協青年部員、青年団産業部員等約四十名、馬場教諭の引率によつて川棚高校波佐見分校生徒約三十名の外、福重町長田川支所長、竹下川棚地区農業改良事務所長、西日本新聞社馬場、長崎日日貞松兩記者も参観せられ、非常に効果的であつた。

先づ午前九時から約一時間半に亘り、会員の競作田、吾作会館の実地視察を行い十時半から十二時半まで左の順序で研究発表が行われた。

一、挨拶並産業教育の経過報告　永冨　主事
二、挨拶並に祝辞　福重町長、李尾分館長
三、吾作会の経過報告　久田吾作会長
四、研究発表
1　共同研究田の肥料試験の結果について　会員　村川　雅
2　健苗育成について　会員　山田　寅二
3　二条並木植と培土栽培の導入について　会員　筒　昭和
4　競作田の研究発表　会員　藤本　元一　村川　巽　山下治四郎　川内　健次

畫食後、幻灯（日本一の麦作法）による相互研究の後、本日特に指導をお願いした県農業改良課、水稲専門技術員　松永技師の講評と特別講演があり、特に科学に立脚した稲作法については、流石に県下一の専門指導官だけに、始めて聞くお話が多く、全員感銘させられた。最後に県教育庁東彼北高連絡所指導官　棚林主事の講評あり。本日の研究発表に全会員の真剣な生活意慾が漲つていて、稀に見る有意義な熱のある発表会だつたとお褒めの言葉を戴いて、公民館の産業教育というものについてこんなものでよいのかと疑念を持つていたが、大いに元気付けられて、いさゝか自信を得たようで嬉しかつた

今後適当な時期を選んで、南地区の農事研究会、東地区の農協青年部、兩地区の四Hクラブ等の幹部研究会をやつて、うんと産業研究の気運を高めたいと思つている。



産業教育研究発表会
吾作会長久田文夫氏の経過報告

## 表彰状

波佐見町　吾作会

あなた方は農業が國のいしずえであることをよく認識常に創意工夫をこらし、日夜その改善に努力、もつて長崎縣の農業發展のため、大きな貢献を致されましたよつてこゝに記念品を贈りこれを表彰いたします。

昭和三十一年十一月二十三日

長崎縣知事　西岡竹次郎

## 勤労感謝の日!!

### 産業振興功労團体として

### 川内　吾作会　本縣知事の表彰を受く

南地区のモデル農事研究会―川内郷の吾作会は、全会員の一致努力による産業振興のために地域に及ぼした効績が認められて、去る十一月二十三日勤労感謝の日、本県庁に於て晴れの表彰を受けた。

誠にお芽出度いことであつて、蔭のお力添えをした私としても全く嬉しいことであると共に、久田会長を中心としたたゆまぬ努力を続けられた全会員諸君に、満腔の祝意と敬意を表し、指導に當られた農協前田常務、浜野福田兩改良普及員に厚くお礼を申述べる次第である。

と共にこの表彰を機として、更に吾作会員諸君が一層の熱意を以つて研究に努力せられ本町の産業振興に寄与されることを信じ、亦町内の各研究グループが、吾劣じと奮起されるよう熱望する次第である。

（公民館　永冨）

## 母子便り　―その一

## 本を讀んで強く生きよう

母子家庭の皆様御変りありませんか？　お案じ致しております私も其の一人です。修養会にも、良い人のおいでになつて、これは何よりも私の力になつてくれました。力強く生き抜くために役立つ本が集めてあります。ご一緒の休みの一時、寝る前の一時、読むのが楽しみです。特にやさしく身にしみて感じさせられた本は「いとし子と耐えて行かむ」ですきつと皆様方の力になる良い指導の御本と思いますので、波佐見の母子の御家庭では、お読みになつたら時には不満な日暮しの中に、自分の生活を反省する力、まだ〳〵この位な事やさしい事だとがまんする気持が養われ、どこに行つてもどんな場合でもしつかり出来るものと、又子供達もよく学んでくれるものと信じております。

常に丈夫でなければならない私達母子には心の修養も大事な健康の一つと思います。くよ〳〵する時は必ず

農家では猫の手も借りたいと云う様な忙しい時期、皆様の家庭を御案じしながら筆を取らせて頂きました。

私達の家では毎日が子供の学級費にも事欠く様な暮しで御座います。母子の家庭では言わず語らずに、大半は同じ暮し方が多い事と

支柱を失つて迷う母子ほどあわれな者はありません。其の中公民館へ遊びましたして図書部へ寄る様に公民館へ、そして図書部へお立寄りになり、何よりの力になる御本を讀まれる事をお奨め致します。

踏まれても根強く生きれ道草のやがて花咲く春も来るらん

皆様強く生き抜きましよう。母子共皆様の御健康を御祈り致しております。

（こゝに子供と共に生き抜く母の心持を歌ともつかぬものに作つて見ました。）

## 子供を力に

一、いつて来るよと元気よく学校に行く子見送りぬ後姿の　たのもしさ

私の想いを本当に伸ばしてくれと祈りつゝ

二、家に残るは　われ一人後かたづけ目に浮ぶ

子供が学校で　励むさま

私もお前に　負けないと

誓つて　仕事に精を出す

三　だゞ今　帰つた　お母さん

やれきつかつた　よかつたね

迎える楽しい　家の中

今日はどんなの　よらつたの

わたしの力　わが子供

湯無田母子会員　石橋　美代

## 公民館より

よい事を書いて戴きました。

公民館（本館）にある本のうちでお父さん、お母さん方に読んで戴きたい本は

- いとし子と　耐えて行かむ
- 真実に生きる道
- 女の生き方
- いのちへの願い
- 女の一生
- 宗教と人間
- 佛教読本　六冊
- 日本の父母に
- 親を養わない子
- 青年心理
- 婦人の経済学
- 叱り方とほめ方
- 子供の生活としつけ
- 子供の養護としつけ
- 新しい育児百科

等色々あります。遠方のお方は學校の子供さんに頼まれてもよいですから御遠慮なく御借り下さい。

尚南地区の図書分室は支所に設けました。そのうち本館の本と一部入れ替えますからこれも御遠慮なくお読み下さい

## 指導所便り

## デザイン講習会

八月二十八、二十九のの二日間、窯業指導所主催で、陶磁器デザイン講習会を工業組合の二階広間で催した。

この講習会の主旨は今更説明する迄もなく我が長崎県内で生産している陶磁器のデザインはこれでよいか？今後の傾向はどうあるべきか？と云う事に就いて開催したのであります、最も業界が知りたい事であり、又最も業者が身近に必要性を感じている事であるので、あの近年にない大豪雨の直後で、水害の被害が各所にあつたのであつたが、県より佐藤副知事、松下商工課長の臨席があり、波佐見、三河内地区の業者約六十名の出席を得て、盛大に本講習会が實施出来た事は、業界は勿論、主催者としても御同慶にたえない次第である。

本講習会は左記日程順序により行われた。

二十八日波佐見　三河内地区工場視察、及び現地指導

二十九日

一、挨拶並講師紹介　広川　所長

二、挨拶　佐藤副知事

三、講演「グッドデザインと日本陶磁器」　工業技術院産業工芸試験所雑貨意匠課長　芳武　茂介

四、講演「土瓶ツルのデザイン」　工業技術院産業工芸試験所九州出張所技官　那賀　清彦

五、研究懇談

六、「新しい陶磁器」天然色スライド映画

本講演会に当つては前記したように非常に多忙の中、副知事の臨席を得、特に本県の産業として愈々発展せんとしている今後の方針に就いて、色々の角度より有益なる意見を述べられ、その後本講演会の主目的たる芳武先生の講演にうつつた。

先生の講演の主旨を大略すると次の通りである。

一朝にして四等国民となり、いたずらに米国人の風習や行動をまねる事であつたが、終戦後十年にして、順次日本人本来の性情に就いて、大いに考えねばならぬ重大問題であると考えさせられた。即ち当地方は昔から長い間の伝統だと云う様な気分になつていた。従つてかゝる時代の日用器具等もそんな雰囲気の中でつたので、何となくさわがしい強過ぎるデザインが市場で賞れるとも云う事であつたが、終戦後十年にして、順次進しなければ、今後の発達は望めないと思うが、相當に手数がかゝつてコストが高くなるので、現在のような定しても来るにつれて、静かなもつとおちついた上品なデザインに変つて来る事は当然の事だと思うと云う様な講演であつた。

全く私も同感であり此の点は是非今後窯業界第一の文明人と自他共にゆるしていたのが

一事しておられる人みんなが充分生産の上に考慮して行くべき最も重大なる事と思います。

我々は常にかゝる世の中の変遷を急速に取入れ、日一日とどまる眼のない技術の進歩と、機械器具の改良、科学の向上に向つて邁進しなければ、今後の発達は望めないと思うが、現在の年産額をして二倍三倍にする事は、唯いたずらに感や経験のみでなく、全従業員の科学性の向上が出来て、常に科学する気持で、生産に当る時、はじめて達成出来る事であり、この達成は何等難しい事ではないと思う。

皆様今一歩過去をふりかえり、将来に大きな希望をもち、神がかりの事業にならないよう前進しようではありませんか

（指導所長　広川）

◆親も子も仕事分け合い工夫して、文化生み出せわが家に

## 傳士人見佐波

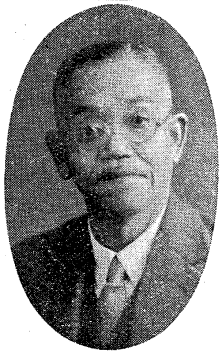
（二）

◆田頭が生んだ
◇日本の實業家

# 黒板傳作氏——の巻

（その一）

公民館　永富貢



故黒板伝作氏

伝作氏がどうにか学資を工面して熊本の第五高等学校へ入学したまでは「館報しもはさみ」に書いたので茲に省略する。

伝作青年は最初医科に入つたが、動物を殺して解剖をするのが嫌になつて工科に転じたところがそこには図画という難物が待ち構えていた。他の科目は級友の誰にも負けないが図画の点数が悪い。下手をすると図画で落第の憂目に合うかも知れぬ。そこで下山直道という図画の先生に直接談判を試みた。

「先生、僕は図画が下手ですがどうでしょう及第する見込みがありますか」

「ずい分まずいね、どうも怪しいものだ」

「どうでしょう、まづい代りに二枚描いて出しますが、それで埋合せて呉れませんか」

一面白い　質の代りに量で行こうというんだね　やつて見給え、及第をやろう」

下山先生は伝作氏の面白い申出でを喜んだ。

それから図画の時間には、大急ぎで二枚の下じ図を書いて出すことになつたが、二倍の努力が華いられてメキ〳〵と腕が上り　その間に興味も出て来て何時の間にか上手になつた。かくて窮乏の中に苦労しながら、優秀な成績で明治三十年五高を卒業した。

そして直ちに東京帝国大学工学部へ進学し文學士になつた令兄勝美氏の慷かな收入によつて、兄弟で自炊しながらセッセと勉強をしたのである。

然し何分にも金が足りないので、大学進学の一年間はそれこそ弊衣破帽、みじめな生活であつたが、二年生になると三菱合資会社の奨学貸費生に選ばれて月七円五十銭のお金が入ることになつた。

そこでやつと息をついて幾らか安心して勉強が出来るようになつた。

黒板兄弟の涙ぐましい兄弟愛の努力とその勝れた頭脳に惚れ込んだ大学の主任教授真野博士のお世話によつて、当時発明家としても知られた日本製糖株式会社々長鈴木藤三郎氏の経営する鈴木鐵工部に機械の指導をして呉れと懇請されて入社したのは大正六年の春であつた。

そして芽出度く大学を卒業して工学士となつたが、直ぐに日本製糖の機械主任に来て呉れという申込である。

重役が会い度いとのことでノコ〳〵出かけて行つたが色々な話の末に「それでは工場を見てから決めましよう」と言うと「工場には秘密な部分があるから社員でなければ見せられない」という。

伝作氏は「それではお断りする」と言つて帰つてやつた。六十五円の能率を上げようと決意し、自ら工場に出て第一線に立つて働いた。若手の工学士が師長となることになつた。

当時の年俸一千円というのはあまり例がなく、工場街の評判になつたものだそうだ。

青年技師長として稀有の高給を貰い、又日本製糖の嘱託技師ともなつて、その前途は順風満帆を予想されたのであつたが、運命のサイコロは飛んだ方角に進んで鉄工部の收益は増加した。

当時の月給は六十五円と日本製糖の嘱託手当が二十五円入るので生活に不自由はなく仕事をするのが楽しみであつた。

この件で黒板氏は鈴木鐵工も日本製糖も両方共辞職して了つて、独立自営への第一歩を踏み出すことになつたのは、果して同氏にとつて幸であつたろうか？或は不幸であつたろうか？

（以下次号）

模様を見てから先づ職工達はこの青二才がどんなお手並を拝見しようかと云わんばかりの態度で居るのだから一足飛びに百円だ二百円だと言い出した鈴木社長もヤラレタと思つたことだろう。

若手の工学士が師長となることになつたのだから、老練な

◆不足言うまい今日一日は、主婦の笑顔で明るい家庭。

# 南地區の清潔衛生視察会を終えて

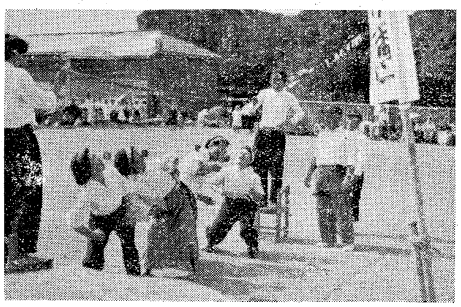
日時　八月三日
場所　甲長野郷
参会者
東地区各郷衛生部長
婦人会厚生部長、東南婦人会長、地元衛生部長、郷總代、幹部、婦人会、總人員三十五名、
東地区視察員
衛生部長
中尾　今村　恒之
永尾　欠　欠
三又　田崎　実男
小橋　欠　欠
野々川　長島　低
湯無田　前川　吉奉
井石　早川　政吉
鬼木　欠　永田　仁助
金屋　永田　仁助
折敷瀬　中村　準一
宿　欠　欠
村　木　沢村伊平次
婦人会厚生部
会長　岩永　初枝
厚生部長　寺田　つる
中尾　義田　光枝
永尾　外尾　光枝
三又　中尾トシ子
小橋　欠　欠
野々川　上山　セツ
湯無田　喜瀬　洋子
井石　山口　シカ
鬼木　欠　欠
金屋　中村　ワイ
折敷瀬　久保田ヒロ
宿　村　木　原尾　カメ

衛生モデル地區として、かねてその成果を傘開しておりましただけに、該地区の視察は期待も大きく一行は集合と同時に上地区、下地区の二班に別れ、容赦なく照りつける眞夏の太陽を浴びながら、直ちに視察に移りました。山間地のこゝ甲長野は、大自然の中に眠つたような静かな部落で、徒つて途中の道路も上つたり下つたり、或は山を越えたりの行程でありましたが、次々の家に期待をかけて南婦人会長、地元衛生部長、郷總代、幹部、婦人会、總人員三十五名、の一行は集合と同時に上地区、下地区の二班に別れ、容赦なく照りつける眞夏の太陽を浴びながら、直ちに視察に移りました。山間地のこゝ甲長野は、大自然の中に眠つたような静かな部落この心の奥底しさが偲ばれました。あらゆる文化施設を殆んど隔離されたようなこの山間地の部落でありながらも何彼につけ文化的水準の発達した面が伺われ、色々と得るところが大きく、時には見とれ、或は聞きとれているうちに聞きとれているうちに同行の男の人達に残され今度はかけ足と云つた有様で視察を続けました。

次に墓地、是又共同清掃のあとが一目瞭然で墓茶碗は全部きちんと伏せ、お花は石碑の前或はお墓の周囲に、四季それ〳〵の花と思われるもの、又お墓に列をなし一寸公園といつた錯覚にかられましたが、やがて来る春の四月を思い、こうした墓地に安らかに眠る人達の幸せをよろこび、且つ羨ましく思いました。

こうして家の内に外にあがつております実蹟のかげには、旧下波佐見村当局の御指導御援助はもとよりと思い、全戸とまではいかないが、多くの家に見られました。

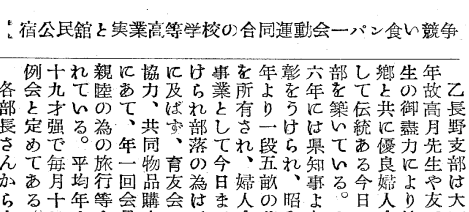
尚会長さんをはじめ私達婦人部は、台所の改善、それに併う町よりの補助等に就いて、その必要性を認識されたからこそ見学させていただきましたが、家によつては自家水道、かまどの改善はもとより、大ていの家が台所用具の配置その他あらゆる面に都合よく便利に工夫し、ことごとく改善されたあとが見られ、これでこそ台所に働く主婦の労力も半減される事と思われました。又大かたの家で見られた食卓の要領に就いての説明後、今後の清潔衛生に就いて意見の交換を行いました。それには先づ七十二名の会員は兼ねて実行していられる「一野婦人会の視察会であつた。他支部よりの参観者約三十五名、大きな期待をいだきながら乙長野公民館に入る。



乙長野婦人会視察記

去る十月四日は乙長「前掛会」の名前の通り

それ〳〵お似合の前掛つた。いつもの例会の気分のまゝ、楽しい自分達の勉強の一ときを待ちこがれていられる様は、何となく美しくなびくうきに野性の清掃の花が盛られ、会の雰囲気を一層明るくなごやかなものにしていた。公民館より五名の男子の方の顔も見られ、予定の時間通り本田支部長さんの挨拶に始まつた。



争競い食パン一会運動同合同の校学等高業実と館民公宿

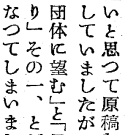
その他一長一短、各々色々の特色をもつておりますので、一足飛びにはまいりませず、求めてくる道は遙かかいつたゝにお互の健康保持並びに健康増進の為に、ながら「生命を護る」という点では、人間誰かえつて自己の存在をしも共通の念願を持つ感じであります。しかし的なものにふれると、ら、一日を有益に過しこゝに甲長野部落に、去年にも勝る豊作を念じつゝ帰途につきました。

視察を終え今こうしてペンをとつておりますが私には、當地区に就いて複雑な感じが頭の中に渦を巻いておりますが、地区的の相違生活、環境の相違等、うした視察の一つの目的は「私方を知る」と云う事であつて、少くとも私個人はそう意識して時に陽はようやく西間と云うものは、異質感じであります。しかしながら「生命を護る」という点では、人間誰かえつて自己の存在をよりはつきり知る事が出来るからだと思いますので、健康の根源即ち清潔衛生の面に心を注ぎ、一致共力して「成せば成る」の信念で先づ工夫努力で出来る事から、又一方地区の特殊性を考慮しながら、一つ一つ工夫し、更に改善と一歩一歩進みましたら二年から「明るい婦人会とするには一会員一人一人の向上を求め、末端の会員の希望する活動でなければならないこと、後輩の会員への親婦人会のこの施設に感謝され、又來年もぜひ続けて慈しいと念願されていた。寸劇にうつり、お土産のパンからり、よくどこの家庭でも演ずる光景もユーモアたつぷり終りに滋川会長の講評と謝辞が有り予定通り終了した。

最後に私の感想を附記致しますと、今迄の講義式のものから生活課題を中心とする話し合う學習に切替えられていられることは、大いに参考としたいところで、今日のこの会を会員の皆様にお見せしたかつた感じで一杯でした。これは私だけでなく視察者一同の氣持だつたことゝ信じますこゝに又、心構えを新にして帰路についた。

南婦教養部長　小柳タニ

## 編集後記



いよ〳〵寒くなりました。年末が近づくにつれて、農家の皆様も窯焼きの皆様もお忙しいことゝ思います。

××××

予算の関係もありまして一寸発行を延ばしました。原稿が集まらんであちこち頼いでいるうちに、締切間際になつて亦どつとやつて來て例によつて嬉しい悲鳴をあげました。

××××

遅れて來たものに時期的に大事な原稿があつて、早く來ていたものを次号廻しとせねばならないのが出來ましたが、誠に申訳ありません。

××××

次号に廻した分は自力で復旧せよ新町に寄す

婦人会生活部便り

母子便り　その二

吾作会の歩み

宿運動会記事

電報のいろ〳〵

★　★　★

## 町民の声

欄をもつと取上げたいと思つて原稿を用意していましたが「民主団体に望む」と「母子便り」その一、とだけになつてしまいました。

××××

次号に廻した分は自力で復旧せよ新町に寄す

婦人会生活部便り

母子便り　その二

吾作会の歩み

宿運動会記事

電報のいろ〳〵

郵便受箱

表　札

家畜取引法について

生花学級のこと

二宮尊徳像除幕式

郵便局便り

等です。誠に申訳ありません。次号をお楽しみ下さい。

××××

では町民の皆様、風邪を引かぬように、よい正月を迎えるためにお働らき下さい。

（編集部　永邑）

## 白日夢　果生

白日夢　しのつく喜雨に　撃たれたり。
喜雨の子ら　地に足跡を　はしやぎ置く
喜雨の子ら　泳ぐもありて　庭借る
秋立つや　噴水の玉　おとろへて
秋立つや　庵の胡瓜の　ほろにがく

（注）　旱天の慈雨を喜雨と云います

## 東婦厚生部長　寺田つる

乙長野支部は大正二年故高月先生や友重先生の御薫力により協和郷と共に優良婦人会として伝統ある今日の支部を築いている。大正六年には県知事より表彰をうけられ、昭和七年より一段五畝の菜園を所有され、婦人会の事業として今日まで続けられ部落の為は云うに及ばず、育友会への協力、共同物品購入等にあて、年一回会員の親睦の為の旅行等もされている。平均年令三十九才強で毎月十日を例会と定めてある。

各部長さんから本年度計画と九月まで前半期間の実行された事について詳しい発表があり、よくその責任を分担され各部とも片よらない足どりで前進していられる。

次に会員の体験発表があつたが（九名）主なものを記してみると一、教養部方面では

小グループ活動によつて（お茶がら会）新聞の切抜を話題にして知識をひろめ、毎日新らしい教育を身につけて、成長する子供達におくれない様に、母親も勉強をしていられる意欲がよくうかゞわれて、さすが文化の中心部落として一般にレベルが高い事を視察者みな感じられたこと、思は、やゝもすれば他所に重点をおき勝なものですが、一日のほとんどを作業衣で過さねばならない私共にとつて、これこそ改善しなければと話合をされて、二十点の出品も有り、その作り方も説明され、現実の生活をみつめていられる会員の方の熱意にうごかされずにはおられなかつた季節託児所について昨年度から本田支部長さんのきも入りで農繁期の託児所を開設していられる。人手不足の農繁期にこの施設の有難いことを感涙されつゝ語られ、幼児の躾がよく出来、社会性が養われてきて、家族一同が取組んでおれば、必らず自分の意見と云うものはでるはずである

⑦方言でもよい

①やわらかい雰囲気でありたい（司会者も）

②よい意見も、これはどうかと思われる様な意見も、一應取り上げてほしい

③六六式討議は事を決める場合がよい

④並び方にもよる。司会者の顔が見える様

⑤前もつて問題を知らせておく事

⑥ふだんよく会合に出て勉強しておれば、

⑦方言でもよい

終りに滋川会長の講評と謝辞が有り予定通り終了した。

最後に私の感想を附記致しますと、今迄の講義式のものから生活課題を中心とする話し合う學習に切替えられていられることは、大いに参考としたいところで、今日のこの会を会員の皆様にお見せしたかつた感じで一杯でした。これは私だけでなく視察者一同の氣持だつたことゝ信じますこゝに又、心構えを新にして帰路についた。

南婦教養部長　小柳タニ